

## 杉並区多文化共生基本方針（案）の策定について

区では、区民一人ひとりの人権尊重を基盤とし、国籍や民族等の異なる人々が互いの文化を認め合い、協力し合って豊かな地域社会にしていくため、今後の多文化共生施策の基本的な考え方や取組の方向性を示すことを目的に、杉並区多文化共生推進懇談会（以下「懇談会」という。）での議論やアンケート・ヒアリング等で得た区民等の意見を踏まえ、杉並区多文化共生基本方針（以下「基本方針」という。）の策定に向けた、検討を進めてきたところです。

このたび、基本方針（案）を取りまとめたので、基本方針の策定に向けて以下のとおり進めることといたします。

### 1 基本方針（案）策定の経緯

#### （1）区民等への意見聴取

種 別	対象等
日本国籍住民調査 (4月15日～30日)	住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の日本国籍住民2,000人(回答者数256人)
外国国籍住民調査 (5月24日～6月28日)	住民基本台帳から無作為抽出した18歳以上の外国国籍住民2,000人(回答者数429人)
外国国籍区民ヒアリング (6月24日～7月22日)	外国国籍住民調査回答者及び杉並区内・近隣日本語学校の留学生27人
区民意識調査 (8月1日～31日)	広報・ホームページにて一般区民を対象に調査(回答者数128人)
すぎなみボイス (8月1日～31日)	すぎなみボイス登録者(回答数64件)
外国国籍の子どもヒアリング (10月16日～17日)	子ども日本語教室の児童・生徒17人

#### （2）懇談会の開催

○学識経験者、多文化共生関係団体の代表者、杉並区町会連合会の代表者、学校関係者、外国人住民等7人からなる懇談会を設置し、意見や助言をいただいた。

#### 【開催実績】

第1回4月23日（火）、第2回7月9日（火）、第3回10月3日（木）

#### （3）意見聴取等から明らかになった課題

- ①共生社会の実現に向けた課題
- ②コミュニケーションにおける課題
- ③外国国籍区民の社会参画に向けた課題
- ④拠点整備の必要性

## 2 基本方針（案）について

### （1）基本方針（案）

別紙「杉並区多文化共生基本方針（案）」のとおり。

### （2）概要

#### ①位置付け

区の最上位計画である杉並区基本構想を実現するための具体的な道筋となる杉並区総合計画・実行計画に基づき、区における多文化共生施策の基本的な方向性を示す方針とする。

#### ②目標

すべての区民が人権を尊重し、互いの文化を認め合い、安心して暮らせる地域づくり

#### ③重点項目

目標の実現のため、以下の4つの重点項目に取り組む。

##### ○互いを尊重し合える意識の啓発・醸成

杉並区自治基本条例に掲げる「区民一人ひとりの人権の尊重」の実現を目指し、互いの人権を尊重する意識の啓発に取り組む。

##### ○コミュニケーション支援

日本語を学べる環境を整備するとともに、情報を必要としている人に必要な情報が伝わる発信に取り組む。

##### ○すべての人が活躍できる地域づくり

地域で暮らす人々がお互いに顔が見える関係を構築し、主体的な社会参画を通してすべての人が活躍できる地域を目指す。

##### ○多文化共生拠点の整備

外国人向けの日本語学習支援や生活相談窓口の運営、地域参画を目的とした交流イベント等を実施する、異なる文化や背景を持つ区民が集い交流する拠点を整備する。

### （3）推進体制

#### ①懇談会

基本方針策定後は、現在の委員に加えて、外国国籍区民や外国国籍区民支援等を行う団体代表者等を委員として懇談会を運営する。懇談会では、基本方針に基づき実施する多文化共生推進事業の検証をはじめ、今後の多文化共生の推進に係る方向性や具体策等について意見交換を行う。

#### ②庁内調整会議

多文化共生の推進にかかる取組状況の把握や情報の共有を図るとともに、関係各課と必要な連携を行うため、庁内調整会議を設置する。

## 3 今後のスケジュール（予定）

令和6年12月	区民等の意見提出手続の実施（12月3日～令和7年1月6日）
令和7年1月	第4回懇談会へ区民等の意見提出手続の結果等を踏まえた最終方針案を報告 基本方針策定
2月	基本方針を区民生活委員会へ報告

# 杉並区多文化共生基本方針（案）



---

# 目 次

---

第1章 杉並区多文化共生基本方針の策定に当たって	1
1. 国や東京都の動向	1
2. 杉並区多文化共生基本方針の位置づけ	4
第2章 杉並区が多文化共生を取り巻く現状と課題	5
1. 杉並区の現状	5
2. 杉並区が多文化共生関わる主な課題	9
(1) 共生社会の実現に向けた課題	9
(2) コミュニケーションにおける課題	9
(3) 外国国籍区民の社会参画に向けた課題	10
(4) 拠点整備の必要性	10
第3章 杉並区多文化共生基本方針と具体的な取組	11
1. 杉並区が目指すべき目標とその実現に向けた重点項目	11
2. 重点項目を実現する13項目の取組	12
3. 杉並区多文化共生基本方針体系図	25
4. 杉並区多文化共生基本方針の推進体制	27
(1) 杉並区多文化共生推進懇談会	27
(2) 庁内調整会議	27
(3) 杉並区多文化共生推進懇談会の経過	28
資料編	29
1. 多文化共生実態調査の概要	29
2. 調査結果	31
(1) 日本国籍住民調査	31
(2) 外国国籍住民調査	35
(3) 区民意識調査	41
(4) 外国国籍区民ヒアリング	44
(5) 外国国籍の子どもヒアリング	45
3. 用語について	46

## 第1章 杉並区多文化共生基本方針の策定に当たって

杉並区は、令和5（2023）年度に行った総合計画・実行計画の改定に際し、新たな施策「人権を尊重する地域社会の醸成」を掲げ、年齢・性別・国籍・人種等による差別や偏見のない多様性を認め合う意識の醸成を目指すこととしました。この施策を構成する事業の1つが「多文化共生<sup>1</sup>の推進」です。

杉並区における「多文化共生の推進」は、これまで外国国籍区民<sup>2</sup>や外国にルーツを持つ日本国籍区民<sup>3</sup>を対象とした子ども日本語教室の実施、区役所内における「外国人相談窓口」の設置など、「在住外国人の支援」という視点が中心でした。

しかし、外国国籍区民の増加や多国籍化、多様性・包摂性のある社会実現の動き、デジタル化の進展など、社会経済情勢が大きく変化してきた中では、外国国籍区民を地域社会の担い手として捉えて社会参画を促す、「共生」の視点も求められています。

区では新たに「共生」の視点を持ち、「支援」と「共生」それぞれの面から取組を進めるため、今後の多文化共生施策の基本的な考え方や取組の方向性を示すことを目的に、「杉並区多文化共生基本方針」を策定することとしました。

### 1. 国や東京都の動向

〇国は、「多文化共生の推進に関する研究会報告書」（平成18（2006）年 総務省）の中で、多文化共生を「国籍や民族など異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」と定義しています。この多文化共生を推進していくに当たり、都道府県及び市区町村における多文化共生推進の指針となる「地域における多文化共生推進プラン」が策定され、市区町村には、地域の実情を踏まえつつ、都道府県との役割分担を明確にしながら、区域内における多文化共生の推進に関する指針・計画を策定することが求められました。また、令和2（2020）年には、外国人住民の増加・多国籍化、在留資格「特定技能」の創設、デジタル化の進展など、多文化共生施策を取り巻く社会経済情勢が大きく変化したことから、本プランの改訂が行わ

<sup>1</sup> 「多文化共生」…国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと。

（『多文化共生の推進に関する研究会報告書』平成18（2006）年 総務省）

<sup>2</sup> 「外国国籍区民」…国籍が日本以外の区民

<sup>3</sup> 「外国にルーツを持つ日本国籍区民」…「届出により日本の国籍を取得した区民」、「外国で出生し、日本以外の国籍も持つ区民」、「親の両方又はいずれかが外国出身者である日本の国籍を持つ区民」

れ、市区町村には、より一層、多文化共生を推進していくことが求められています。

○多文化共生を取り巻く制度の面において、国は、平成 30（2018）年に「出入国管理及び難民認定法」を改正し、人口減少等により深刻化する人手不足への対応として、一定の専門性・技能を有し即戦力となる外国人を受け入れていくための在留資格「特定技能 1 号・2 号」を創設しました。これに併せて「外国人材の受入れ・共生のための総合的対応策」による外国人受入れ・共生のための総合的な取組を実施しており、今後も、新たに日本に在留する外国人が増えることが見込まれています。

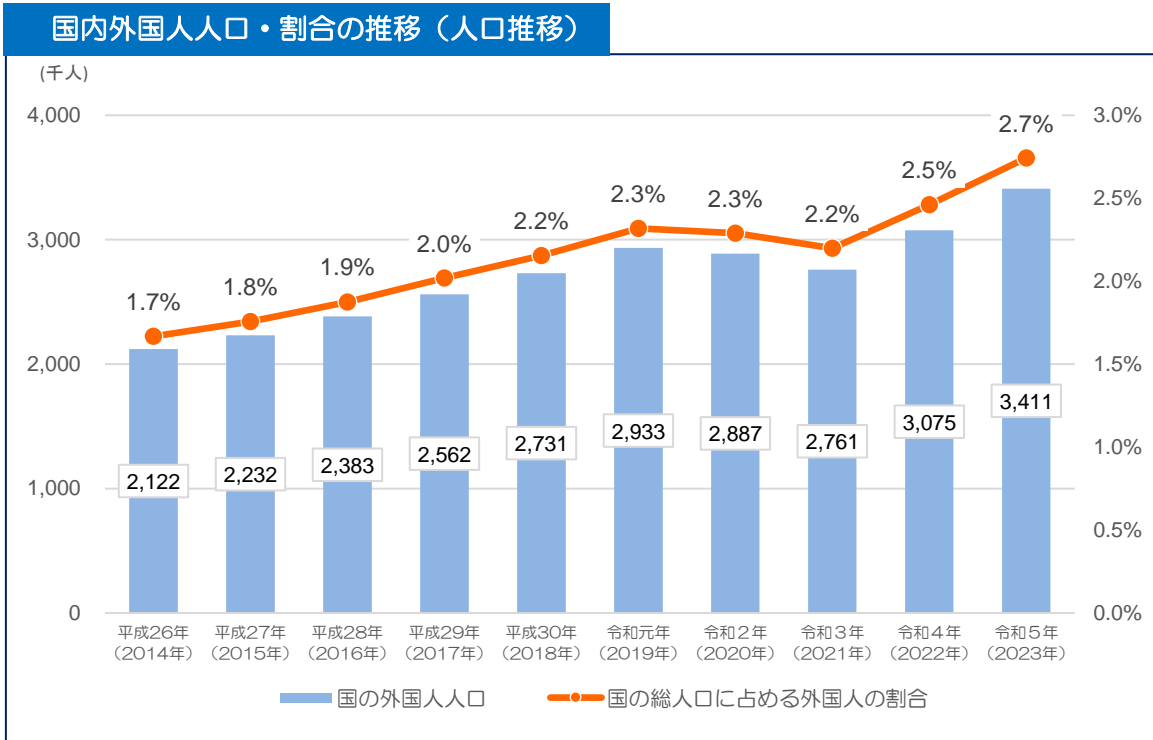
令和 5（2023）年に厚生労働省の国立社会保障・人口問題研究所が発表した日本の将来人口推計では、およそ 50 年後の 令和 52（2070）年には、日本人の人口は 8,700 万人となり、現在の 1 億 2,441 万人（推計）から 30%の大幅減少となることが予測されています。一方で、外国人数は、令和 4（2022）年 6 月末時点の 296 万人（出入国在留管理庁）から 1,082 万人になると予測されており、この数は、推計人口全体の 12.4%に相当します。

○東京都は、平成 28（2016）年に、日本人と外国人が共に東京の発展に向けて参加・活躍する、新たな考え方に立った「東京都多文化共生推進指針～世界をリードするグローバル都市へ～」を策定しました。その内容は、東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、東京がグローバル都市として持続的に発展するためには、「地域において共に生活する」という従来の多文化共生の考え方を発展させ、「東京で共に活躍する」という新たな考え方に立った指針となっています。

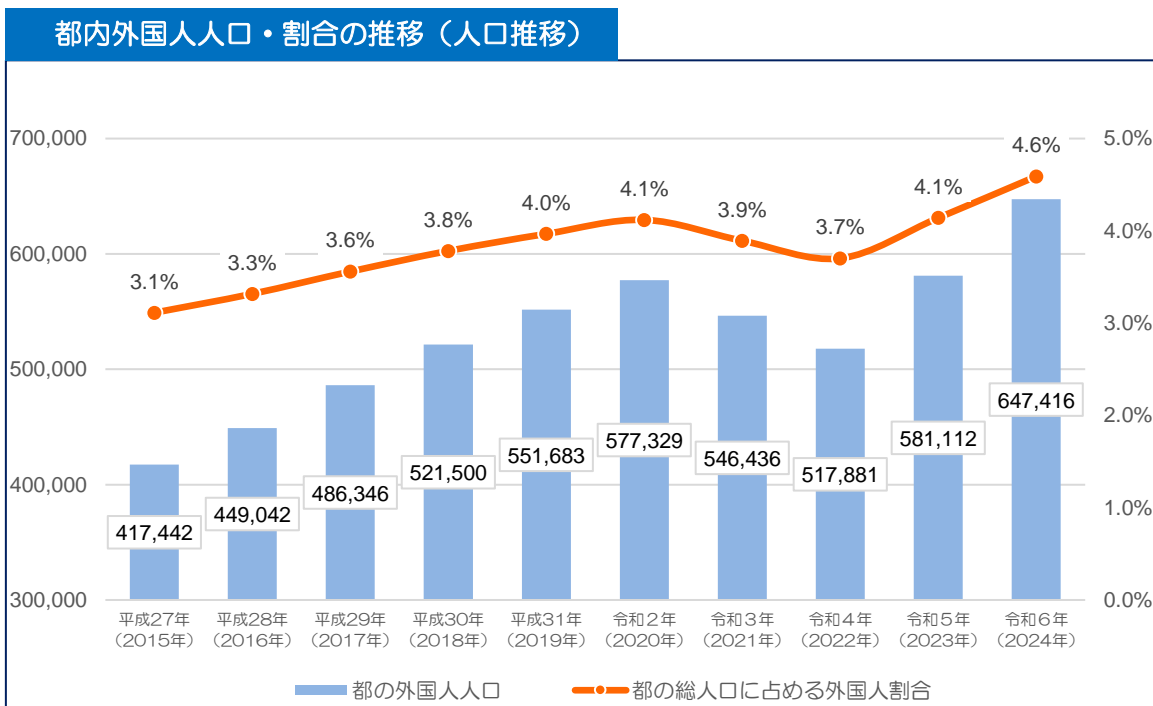
その後、令和 2（2020）年には、一般財団法人東京都つながり創生財団（現在は公益財団法人）を設立するなど、多文化共生社会づくりの実現を進めています。

## 国・東京都の外国人住民の推移

○外国人住民の総数は、全国、東京都ともに過去最高水準を更新し続けていましたが、令和2（2020）年になると、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて減少に転じましたが、令和4（2022）年には再び増加に転じています。



総務省在留外国人統計より作成 ※各年12月末現在



東京都の統計より作成 ※各年1月1日現在

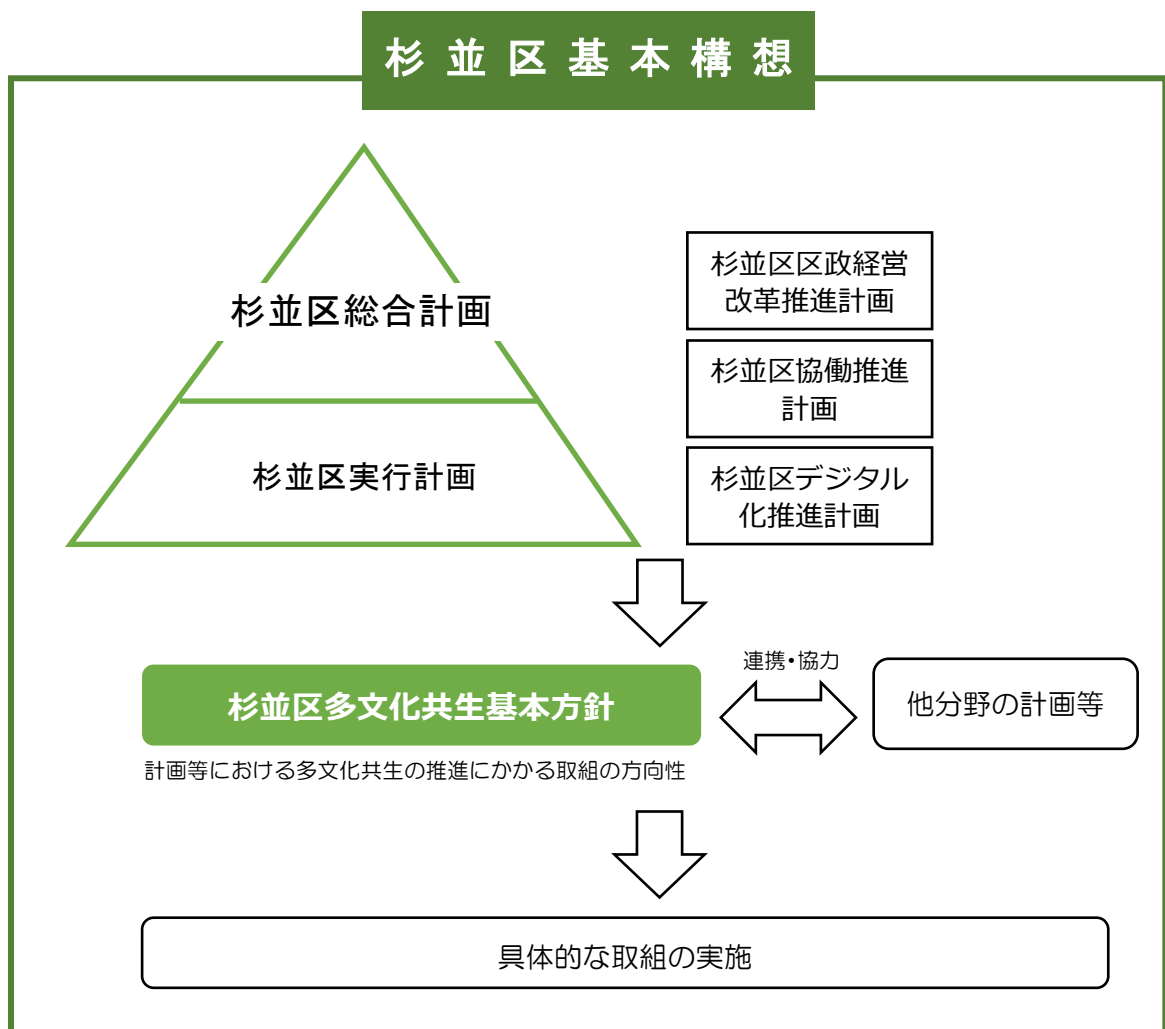


## 2. 杉並区多文化共生基本方針の位置づけ

○杉並区多文化共生基本方針は、杉並区の最上位計画である杉並区基本構想を実現するための具体的な道筋となる杉並区総合計画・実行計画に基づき、杉並区における多文化共生施策の基本的な方向性を示すものです。

○また、多文化共生の推進に向けて、他分野の計画等との連携も図っていきます。

図 1-1 杉並区多文化共生基本方針の位置づけ



## 第2章 杉並区の多文化共生を取り巻く現状と課題

### 1. 杉並区の現状

---

○国や東京都の外国人人口が増加する中、杉並区においても、留学生の受け入れや、在留制度の整備に伴う海外人材の受け入れといった国の政策により、外国国籍住民<sup>4</sup>の増加が進んでいます。

○特に、留学生や技術・人文知識・国際業務（技人国）などの在留資格を持つネパールやベトナムなどのアジア諸国出身の外国国籍住民が急速に増加しています。これまで、杉並区における多言語対応は、英語・中国語・ハングル（韓国語・朝鮮語）が中心でしたが、ネパール語やベトナム語への対応も必要となっています。加えて、家族に連れられて来日する子どもたちへの日本語支援や、就学や就職に関する相談体制の確立等にも対応していく必要があります。

○これまでの多文化共生の推進は「在住外国人の支援」が中心でしたが、現在は「共生」の視点が重要な要素になっています。

外国国籍区民は、日本の文化を学び、日本語能力を身に付けると同時に、日本国籍区民<sup>5</sup>は、外国の文化を知り、社会をつくる一員として受け入れるなど、「支援」と「共生」の取組を融合し、お互いに歩み寄り、理解し、共に地域で生きていく仲間として受け入れていくことが必要です。

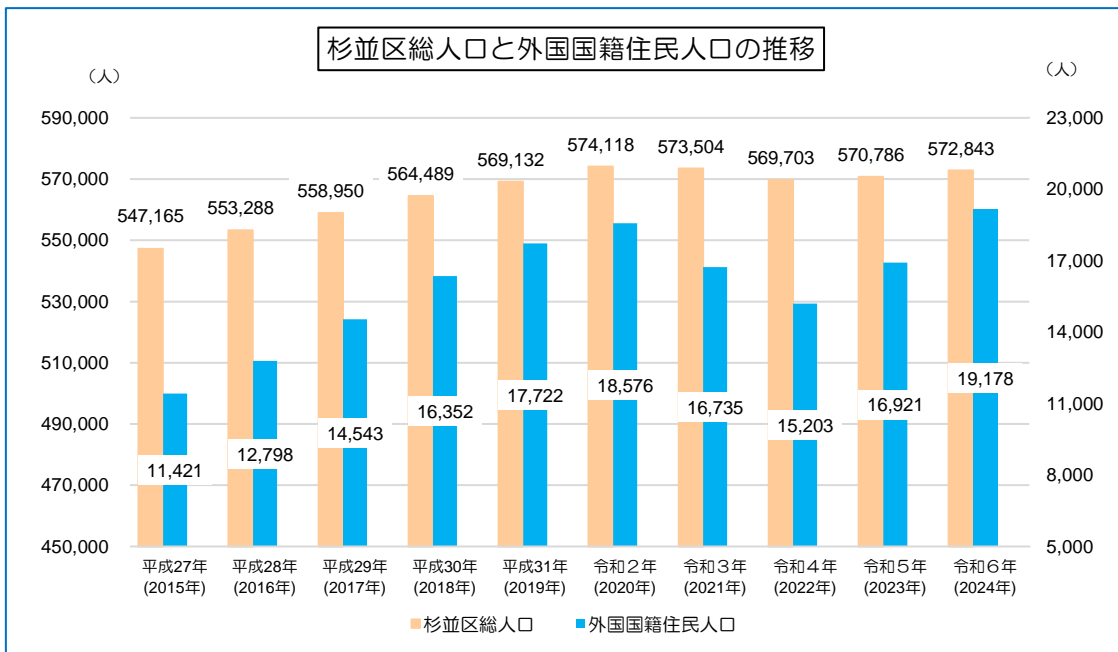
○杉並区は、これまで実行計画において「多様な文化・芸術の振興と多文化交流の推進」を掲げ多文化共生の推進に取り組んできましたが、多文化共生をより一層、推進していくため、令和 5（2023）年度に行った総合計画・実行計画の改定において、これを「多文化共生・国内外交流の推進」に改め、多文化共生に関する基本方針の策定に取り組むことにしました。

---

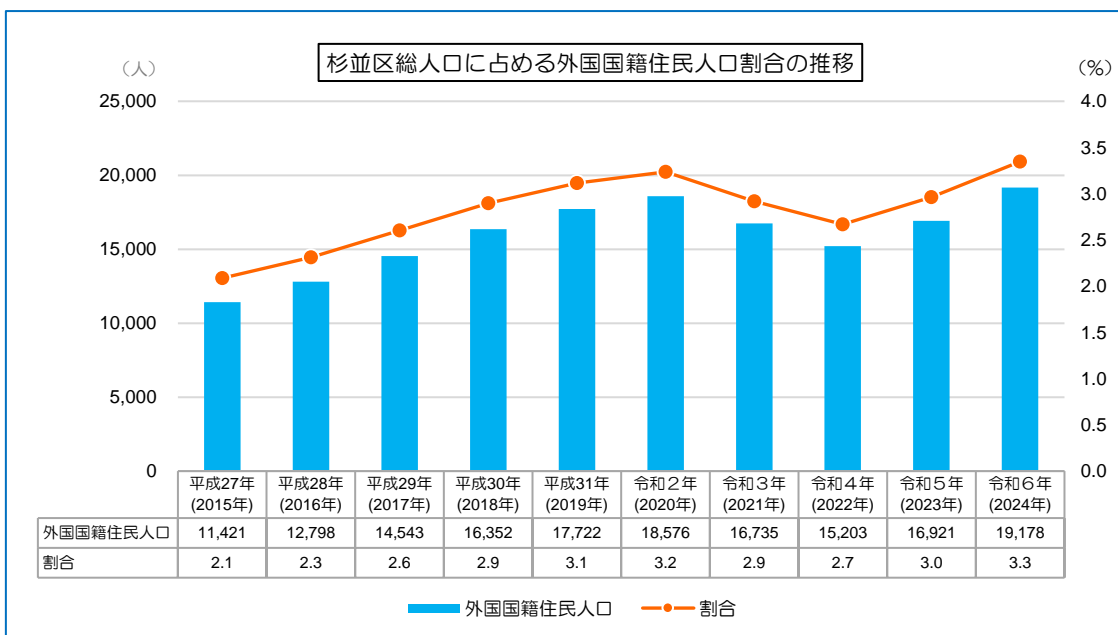
<sup>4</sup> 「外国国籍住民」…「外国国籍区民」のうち、杉並区に住民登録をしている人

<sup>5</sup> 「日本国籍区民」…国籍が日本である区民

## 杉並区の外国国籍住民の増加率と推移（人口推移）



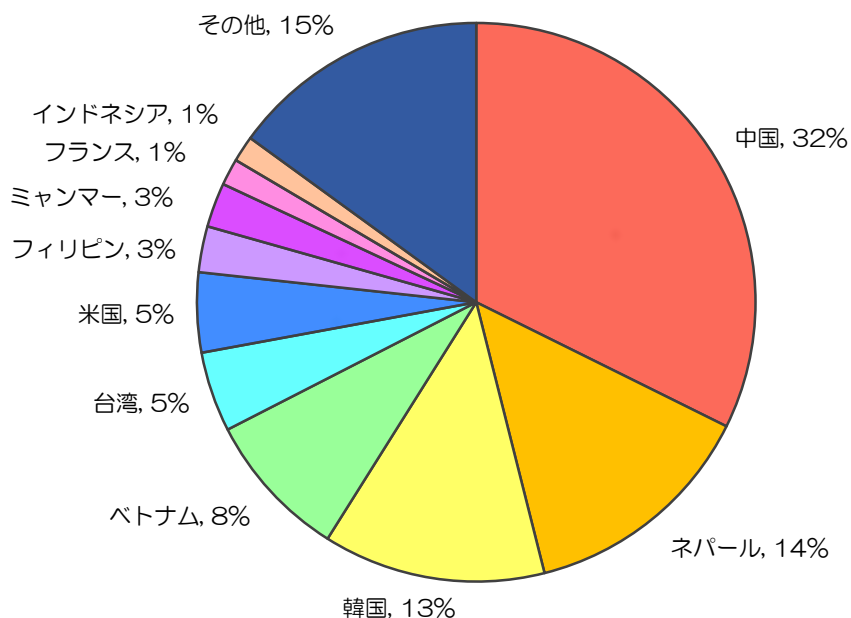
(住民基本台帳より 各年1月1日現在)



(住民基本台帳より 各年1月1日現在)

○杉並区の外国国籍住民人口は、平成26(2014)年頃から増加傾向となり、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受けて一時減少したものの、令和4(2022)年に再び増加に転じ、令和6(2024)年1月現在19,178人と過去最高となっています。杉並区総人口(572,843人)に占める割合は約3.3%で、10年前から約1.7倍に増加しています。

## 国籍・地域別外国国籍住民人口

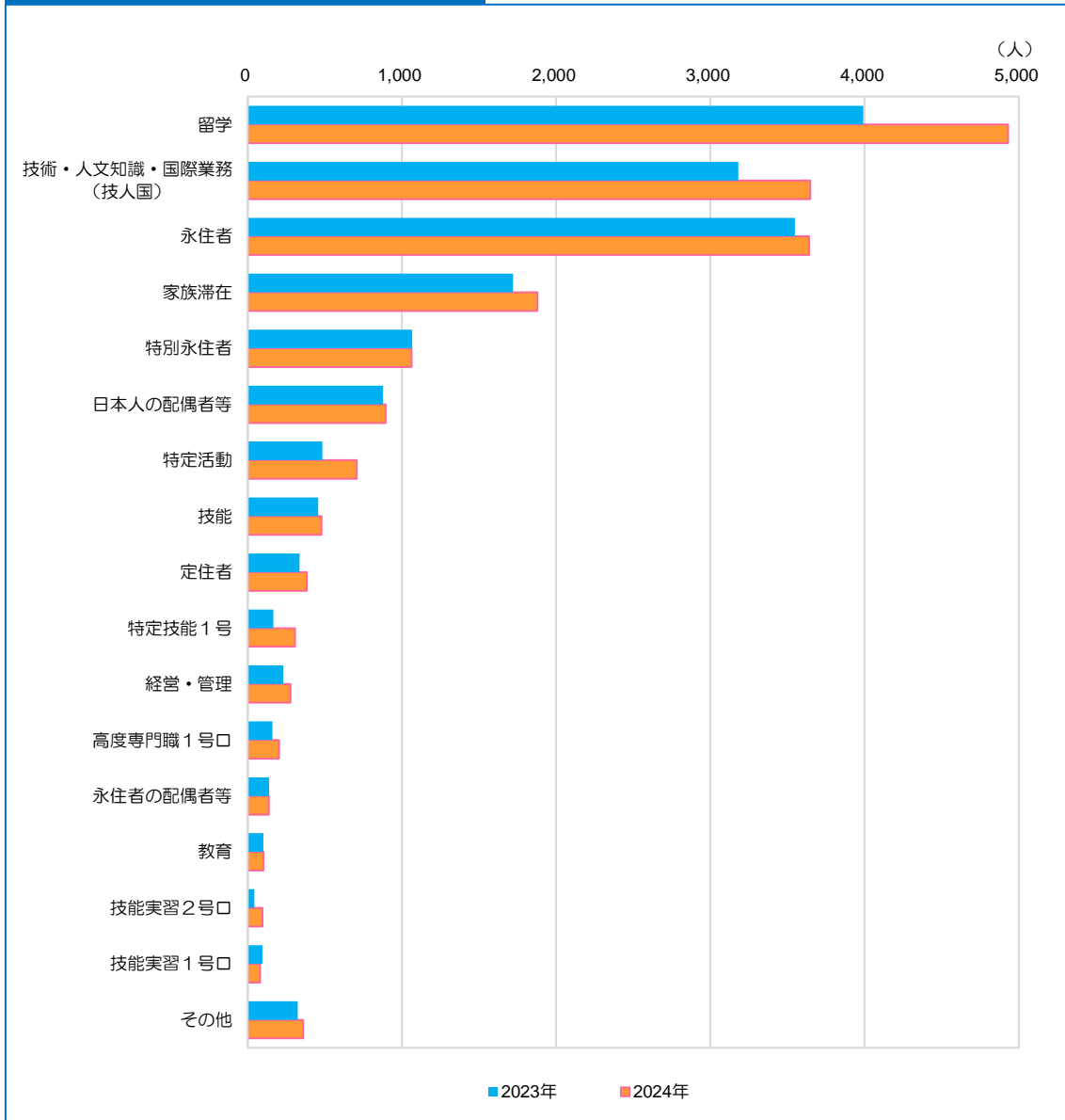


(住民基本台帳より 令和6(2024)年10月1日現在)

○杉並区の外国国籍住民の国籍・地域別内訳は、中国、ネパール、韓国の3カ国で過半数を占めており、他にもアジア圏国籍人口が多くなっています。特に近年は、ネパール国籍人口の増加が著しく、令和6(2024)年6月以降は韓国国籍人口と順位が入れ替わりました。

○また、「その他」に含まれる国籍は109カ国あり、杉並区においても多国籍化が進んでいます。

## 在留資格別外国国籍住民人口の推移



(住民基本台帳より 各年1月1日現在)

○近年の杉並区の外国国籍住民人口を在留資格別に見ると、留学、技術・人文知識・国際業務（技人国）、永住者、家族滞在、特別永住者等の人口が多くなっています。特に留学、技術・人文知識・国際業務（技人国）の人口は、新型コロナウイルス感染症の収束後の2年間で急激に増加しています。

○杉並区では、ほとんどの在留資格において人口が増加しています。国や都と同様に外国国籍住民の増加が顕著に表れており、また、幅広い人材が杉並区に住んでいることが見てとれます。

## 2. 杉並区の多文化共生に関わる主な課題

---

杉並区多文化共生基本方針の策定に当たり実施した各種アンケートや調査の結果、ヒアリング等から、主な課題を次のように整理しました。

### (1) 共生社会の実現に向けた課題

○日本国籍住民<sup>6</sup>に行ったアンケートでは、杉並区内に外国国籍区民が増えていくことについて「騒音が心配」、「ごみの出し方が気になる」といった自身の生活に影響が出ることを心配する回答が多くありました。

外国国籍区民や外国にルーツを持つ日本国籍区民への日本語教育支援、多言語化による情報発信を行うことで日本の文化やルールの周知を行い、こうした不安の解消に努めていく必要があります。

○一方で、こうした回答の中には、実体験に基づかずイメージによるものがあることも分かりました。ステレオタイプの情報はヘイトスピーチや誤った情報の発信につながるおそれがあり、その防止に努めていくとともに、正しい情報を発信する必要があります。

○外国国籍住民に行ったアンケートやヒアリングでは、「音楽・スポーツ・食に関するイベントの実施により、顔の見える関係を築くことでトラブルは減っていく」といった声が上がっています。交流を通して顔が見える関係を構築し、お互いに理解を深めていくことが求められています。

### (2) コミュニケーションにおける課題

○外国国籍住民に行ったアンケートでは、「ことばの壁を感じている」と回答した方が多く、情報の多言語化や日本語の学習支援を求める声がありました。

一方で、「日本に在留する外国国籍の方のおよそ80%が『やさしい日本語』での情報提供を求めている」との調査結果もあることから、情報の多言語化、日本語の学習支援と合わせ、「やさしい日本語」の普及・啓発にも取り組んでいく必要があります。

○外国国籍住民に行ったアンケートでは、およそ7割の方が「日本語を学んでいる」または「学びたい」と回答がありました。

---

<sup>6</sup> 「日本国籍住民」…「日本国籍区民」のうち、杉並区に住民登録をしている人

ヒアリングでも、「日本語を学ぶことで、日本の文化を知ることや交流をしたいと思っている」というような回答が複数あることから、日本語の学習支援に加え、日本の伝統や文化に触れることができる場を創出していく必要があります。

○また、「生活に必要な情報を日本人の身近な友人・知人に尋ねている」との回答も多くありました。

「区民に『伝わる』広報活動」を掲げる「杉並区広報戦略」の考え方にに基づき、やさしい日本語や多言語を用いて、誰にとってもわかりやすく、伝わりやすい情報発信を目指していく必要があります。

○外国国籍区民へのヒアリングでは、「インターネット上にはたくさんの外国国籍区民に関する情報があるが、散在しているためアクセスしづらい」といった意見がありました。

区ホームページ等に特設サイトを開設するなど、外国国籍区民に関わる情報の集約を図り、受け手に届く情報発信をしていく必要があります。

○杉並区は、在留資格が「留学」などの短期滞在者が多い傾向があります。こうした方は大学や専門学校に通っていることが想定されることから、学校と連携し、生活に関わるルールや安全・安心に関わる情報を届けていく必要があります。

### **(3) 外国国籍区民の社会参画に向けた課題**

○日本国籍住民及び外国国籍住民に行ったアンケートでは、外国国籍区民の社会参画を求める声が上がっています。外国国籍区民が地域イベントや地域コミュニティに参加しやすい環境を整え、地域で暮らす人々と交流できるよう取り組んでいく必要があります。

また、こうした取組を支える人材の育成を進めていく必要があります。

### **(4) 拠点整備の必要性**

○区民意識調査や外国国籍の子どもヒアリングでは、「外国人のための相談窓口や機能の充実を進めるべき」、「児童館など子どもの居場所となる場所があると良い」、「勉強ができる場所を増やしてほしい」といった「場所」に関する要望がありました。多文化共生を推進していくため、誰もが安心して集い、つながることができる居場所となる拠点を整備していく必要があります。

## 第3章 杉並区多文化共生基本方針と具体的な取組

### 1. 杉並区が目指すべき目標とその実現に向けた重点項目

課題の解決を図り、多文化共生を推進していくに当たり、杉並区多文化共生基本方針では、杉並区が目指すべき目標を「すべての区民が人権を尊重し、互いの文化を認め合い、安心して暮らせる地域づくり」とし、4つの重点項目を掲げました。

また、各重点項目を実現するために実施する13項目の取組を定めました。

#### 目 標

すべての区民が人権を尊重し、互いの文化を認め合い、  
安心して暮らせる地域づくり

#### 重点項目1

#### 互いを尊重し合える意識の啓発・醸成

- ☐杉並区自治基本条例に掲げる「区民一人ひとりの人権の尊重」の実現を目指し、互いの人権を尊重する意識の啓発に取り組みます。

#### 重点項目2

#### コミュニケーション支援

- ☐日本語を学べる環境を整備するとともに、情報を必要としている人に必要な情報が伝わる発信に取り組んでいきます。

#### 重点項目3

#### すべての人が活躍できる地域づくり

- ☐地域で暮らす人々がお互いに顔が見える関係を構築し、主体的な社会参画を通して、すべての人が活躍できる地域を目指します。

#### 重点項目4

#### 多文化共生拠点の整備

- ☐外国人向けの日本語学習支援や生活相談窓口の運営、地域参画を目的とした交流イベント等を実施する、異なる文化や背景を持つ区民が集い交流する拠点を整備します。



## 2. 重点項目を実現する 13 項目の取組

### 重点項目 1

### 互いを尊重し合える意識の啓発・醸成

#### 実施する取組① 人権と子どもの権利の擁護

区民一人ひとりの人権を尊重し、その権利を擁護する意識の啓発・醸成に取り組みます。

取組の例	<input type="checkbox"/> 多文化共生基本方針の周知（概要版の作成、多言語化等） <input type="checkbox"/> 区民に伝わる、正しい情報の発信
区民の 声	<p>●互いの人権を尊重し合える関係を作るために必要だと思うことは何ですか？</p> <p>…どの国の人も一人の人間として敬意を払うこと <b>51.6% (66 件)</b></p> <p>…お互いの生活習慣の違いを認め合うこと <b>30.5% (39 件)</b></p> <p>…外国人とひとまとめにしないこと <b>29.7% (38 件)</b></p> <p style="text-align: right;">区民意識調査 (P42)</p> <p>●地域に外国人が増えていくことについて、どのように感じますか？</p> <p>…治安が悪くなる <b>20.7% (53 件) / 23.4% (30 件)</b></p> <p>…漠然とした不安がある <b>17.6% (45 件) / 15.6% (20 件)</b></p> <p style="text-align: right;">日本国籍住民調査 (P33) / 区民意識調査 (P41)</p> <p>○部屋探し、仕事探し、学校、職場における差別の問題に地域レベルで取り組んでほしい。</p> <p style="text-align: right;">外国国籍区民ヒアリング</p> <p>○人権についての知識や理解が足りていないと感じる。</p> <p style="text-align: right;">すぎなみボイス意見</p> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>一人ひとりの人権を尊重し合うことがなければ、多文化共生は実現しません。一人ひとりに名前があります。敬意をもって、名前で呼びあえる関係を築いていきたいです。子どもの育つ権利をともに守っていきましょう。</p> </div> <p style="text-align: right;">多文化共生推進懇談会委員</p>

実施する取組② 「やさしい日本語」の普及・啓発	
誰にとってもわかりやすい「やさしい日本語」の普及・啓発に取り組みます。	
取組の例	<input type="checkbox"/> やさしい日本語の普及・啓発 <input type="checkbox"/> 多文化共生を進める人材の育成
区民の声	<p>●希望する情報発信言語は何ですか？</p> <p>…やさしい日本語 <span style="float: right;"><b>76%</b></span></p> <p>…機械翻訳された母国語 <span style="float: right;"><b>12%</b></span></p> <p style="text-align: center;">出入国在留管理庁・文化庁「在留支援のためのやさしい日本語ガイドライン」参照</p> <p>●すべての区民が安心して暮らせる地域にするために杉並区が進めるべきことは何だと思いませんか？</p> <p>…誰にとっても伝わりやすい日本語（やさしい日本語）の普及・啓発 <span style="float: right;"><b>24.2% (31件)</b></span></p> <p style="text-align: right;">区民意識調査 (P42)</p> <p>○生きるために大切な情報を伝わりやすく、多言語ややさしい日本語で伝達することが必要だと思う。</p> <p style="text-align: right;">外国国籍区民ヒアリング</p> <p>○多言語対応のみならずやさしい日本語でのアンケート設計など、杉並区としては能動的に取り組もうとしている意志を感じ、大変嬉しく思う。</p> <p style="text-align: right;">外国国籍住民調査自由意見</p> <div style="border: 2px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「やさしい日本語」は外国人だけではなく、子ども、高齢者、知的障害者など、だれにとってもわかりやすい日本語です。どう伝えればわかり合えるか、想像力をもって、コミュニケーションできればいいと思います。</p> </div> <p style="text-align: right;">多文化共生推進懇談会委員</p>

実施する取組③ 国内外の文化を相互理解する取組	
講座やイベント等を通して、日本国籍区民と外国国籍区民が互いの文化や歴史に触れ、理解を深めていける機会を創出します。	
取組の例	<input type="checkbox"/> 日本の文化や歴史に触れる講座等の実施 <input type="checkbox"/> 外国の文化や歴史に触れる講座等の実施 <input type="checkbox"/> 交流機会の創出
区民の声	<p>●区内でどのような交流機会に参加したいですか？</p> <p>…地域で開催されるお祭り <span style="float: right;"><b>32.4% (83 件)</b></span></p> <p>…外国人と交流するコミュニティ <span style="float: right;"><b>30.5% (78 件)</b></span></p> <p style="text-align: right;">日本国籍住民調査 (P34)</p> <p>…日本人と交流するコミュニティ <span style="float: right;"><b>48.7% (209 件)</b></span></p> <p>…郷土芸能など日本の伝統文化を体験できるイベント <span style="float: right;"><b>35.7% (153 件)</b></span></p> <p style="text-align: right;">外国国籍住民調査 (P40)</p> <p>○日本の文化や杉並区のことを知れるイベントに参加したい。郷土愛のような感覚があり、住んでいる土地のことを知りたい。</p> <p>○一つの組織で行うと限界があるので、区内大学と区役所のコラボイベントがあれば良いと思う。</p> <p style="text-align: right;">外国国籍区民ヒアリング</p> <div style="border: 2px solid #008000; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>国籍に関わらず、自分の暮らす地域に「自分がいて良いと思える居場所」があることは心の支えになります。イベント等をきっかけに、ご近所で声を掛けやすい、そんな環境を対等な関係（ゆるい関係）で地域住民と共に創り出していくことで、継続的な取り組みへつながればと思います。</p> </div> <p style="text-align: right;">多文化共生推進懇談会委員</p>

## 実施する取組④ 日本語教育機会の確保

杉並区内のボランティア団体等と協力・連携し、外国国籍等区民<sup>7</sup>が日本語を学習できる機会を創出します。また、その学習支援においてボランティアが活躍できる環境を整えます。

取組の例	<input type="checkbox"/> 子ども向けの日本語教室の実施 <input type="checkbox"/> 日本語がゼロベースの方を対象とした日本語教室の実施 <input type="checkbox"/> 多文化共生を進める人材の育成【再掲】
区民の声	<p>●日本語を学んでいますか。または今後学びたいと思いますか？</p> <p>…日本語を学んでいる＋今後学びたい <b>71.3% (306 件)</b>  <small>外国国籍住民調査 (P39)</small></p> <p>●すべての区民が安心して暮らせる地域にするために杉並区が進めるべきことは何だと思いますか？</p> <p>…外国人児童のための日本語学習支援 <b>35.2% (45 件)</b>          …外国人のための日本語学習支援 <b>28.1% (36 件)</b>  <small>区民意識調査 (P42)</small></p> <p>○外国人の子供たちへの日本語教育支援を強化し、学校での適応を支援する。</p> <p>○日本語教育のボランティアなど外国人に向けて行ってほしい。  <small>外国国籍住民調査自由意見</small></p> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>日本語指導が必要な児童生徒が増えています。自分の意思ではなく、親の都合で来日している子ども達が、日本語を身につけることで将来がひらけることを思うと、ぜひ日本語教育の機会が広がることを願っています。</p> </div> <p style="text-align: right;"><small>多文化共生推進懇談会委員</small></p>

<sup>7</sup> 「外国国籍等区民」…「外国国籍区民」及び「外国にルーツを持つ日本国籍区民」

実施する取組⑤ 行政情報の多言語化	
身近な暮らしの情報を多言語化し、わかりやすく発信していきます。	
取組の例	<input type="checkbox"/> 行政情報の多言語化による区民に伝わる広報活動 <input type="checkbox"/> 職員を対象としたやさしい日本語の研修 <input type="checkbox"/> 同時通訳機器の導入等による多言語対応できる環境の整備
区民の声	<p>●地域に外国人が増えていくことについて、どのように感じますか？          …多言語対応など外国人のための整備が必要になる  <span style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">35.5% (91件) / 60.9% (78件)</span>  <small>日本国籍住民調査 (P33) / 区民意識調査 (P41)</small></p> <p>●生活に必要な情報をどこから得ていますか？          …インターネット/友人・知人に聞く/家族・親戚に聞く  <span style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">60.4% (259件) / 40.8% (175件) / 21.4% (92件)</span>  <small>外国国籍住民調査 (P40)</small></p> <p>●日常生活で困ったときは誰に相談していますか？          …知人・友人（日本人以外）  <span style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">59.9% (257件)</span>  <small>外国国籍住民調査 (P38)</small></p> <p>○公共施設や病院、学校などの案内表示や資料を多言語で提供してほしい。区役所など窓口での通訳サービスを拡充してほしい。  <small>外国国籍住民調査自由意見</small></p> <p>○自分の生活に深く関わる情報が母語で受け取れないことが大変。          ○大切な情報は多言語やさしい日本語で伝達することが必要。          ○併記パンフレットは日本語の文字を小さくして、多言語を大きくした方が目に付く。  <small>外国国籍区民ヒアリング</small></p> <div style="border: 2px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>やさしい日本語の活用も多言語化の取組の一つです。わかりやすい日本語での発信は、外国国籍区民にとってはとても助かっているのではないのでしょうか。また、区役所において母国語で情報を得られる事にびっくりする方は少なくないです。こうした行政情報の多言語化は、区にとっても大きなプラスになると思います。</p> </div> <p style="text-align: right;"><small>多文化共生推進懇談会委員</small></p>

実施する取組⑥ 受け手の立場に立った伝わる情報発信	
行政情報の多言語化と合わせ、外国国籍等区民に関わる情報を集約し、誰もが必要な情報にたどり着くことができる環境を整備します。	
取組の例	<input type="checkbox"/> 区ホームページ等を活用した情報の集約と発信 <input type="checkbox"/> 区民に伝わる、正しい情報の発信【再掲】 <input type="checkbox"/> 行政情報の多言語化による区民に伝わる広報活動【再掲】 <input type="checkbox"/> 職員を対象としたやさしい日本語の研修【再掲】
区民の声	<p>●生活に必要な情報をどこから得ていますか？          …区のホームページ/区の広報紙/区のSNS  <span style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">14.5%(62件) / 11.7%(50件) / 5.1%(22件)</span>  <small>外国国籍住民調査 (P40)</small></p> <p>●すべての区民が安心して暮らせる地域にするために杉並区が進めるべきことは何だと思いませんか？          …誰にでも伝わりやすい情報発信  <span style="background-color: black; color: white; padding: 2px;">24.2%(31件)</span>  <small>区民意識調査 (P42)</small></p> <p>○初めて日本に来た外国人向けの専用サイト（住んだ時に役に立つ情報）が多言語版であると良い。</p> <p>○インターネットなどデジタルを通じた発信や、外国人向けの日本語学校と連携して情報発信できれば良いのではないかと。</p> <p style="text-align: right;"><small>外国国籍区民ヒアリング</small></p> <p>○私は他の日本人と一緒に文化活動、スポーツ活動、ボランティア活動に参加したいと思っています。そのような機会についての情報を得たいのですが、どこから始めたらよいか分かりません。</p> <p style="text-align: right;"><small>外国国籍住民調査自由意見</small></p> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>多くの区民の方には外国人に関する情報が伝わっていないので、より積極的に情報を発信していただきたいです。          SNSのみならず、紙ベースでも発信すると良いかもしれません。</p> </div> <p style="text-align: right;"><small>多文化共生推進懇談会委員</small></p>

## 実施する取組⑦ 安全・安心な生活の確保

地域との交流等を通して、日本国籍区民、外国国籍区民お互いに顔が見える関係を構築します。

取組の例	<ul style="list-style-type: none"> <li><input type="checkbox"/> 警察・消防等と連携した安全・安心にかかる情報の発信</li> <li><input type="checkbox"/> 区民に伝わる、正しい情報の発信【再掲】</li> <li><input type="checkbox"/> 行政情報の多言語化による区民に伝わる広報活動【再掲】</li> <li><input type="checkbox"/> 区内で活動する多様な団体との連携・協働</li> </ul>
区民の声	<p>●地域に外国人が増えていくことについて、どのように感じますか？ …生活するルールや習慣の違いからトラブルが起きると思う <b>43.8% (112件) / 49.2% (63件)</b> 日本国籍住民調査 (P33) / 区民意識調査 (P41)</p> <p>●杉並区で実際に生活をして住みやすいと感じる点はありますか？ …治安がよい <b>45.3% (116件) / 45.2% (194件)</b> 日本国籍住民調査 (P32) / 外国国籍住民調査 (P37)</p> <p>○日常的な相談について分野によっては、聞く相手がいない。 外国国籍区民ヒアリング</p> <p>○地震など災害時の手順を知らないなので、そういったことについて知ることができるようにしてください。</p> <p>○防災訓練や避難マニュアルなど災害時の情報提供を多言語で行い、外国人も迅速に情報を得られるようにする。 外国国籍住民調査自由意見</p> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>自分が住む地域の安全・安心を確保したいと思う気持ちは大切だと思います。「差別をしない」、「人間はみな同じ」と認識して行動することで、誰もが安心して暮らせる環境を作っていけば平和な社会になると思います。</p> </div> <p style="text-align: right;">多文化共生推進懇談会委員</p>

実施する取組⑧ 多文化共生を進める人材の育成	
日本国籍区民と外国国籍区民をつなぐキーパーソンとなる人材の育成に取り組み、共に多文化共生を推進する仲間を増やしていきます。	
取組の例	<input type="checkbox"/> 多文化共生を進める人材の育成【再掲】 <input type="checkbox"/> 交流機会の創出【再掲】 <input type="checkbox"/> 多文化共生推進懇談会の拡充
区民の声	<p>●生活をする中で困っていることは何ですか？          …相談先がわからない <b>13.5% (58 件)</b></p> <p>●日常生活で困ったときは誰に相談していますか？          …知人・友人（日本人） <b>38.9% (167 件)</b>  <small>外国国籍住民調査（P38）</small></p> <p>●区内でどのような交流機会に参加したいですか？          …ボランティア活動 <b>18.0% (46 件) / 24.7% (106 件)</b>  <small>日本国籍住民調査（P34） / 外国国籍住民調査（P40）</small></p> <p>○日本人と外国人をつなぐパイプ役になれるようなボランティアをしたい。  <small>外国国籍区民ヒアリング</small></p> <p>○日本人と外国人住民の交流を促進するイベントを企画したい。</p> <p>○今後外国人人口が増加することを見据え、外国人が支援される側から、支援する側・企画する側に成長していくことが必要である。  <small>外国国籍住民調査自由意見</small></p> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>支援する側・される側という壁を取り除き、他者を認め合うため、個人の幸せのため何ができるのか、子ども達と一緒に考えていける人材を育てていけるとよいと思います。</p> </div> <p style="text-align: right;"><small>多文化共生推進懇談会委員</small></p>



実施する取組⑨ 地域人材の活躍の場の提供	
日本国籍区民と外国国籍区民をつなぐキーパーソンとともに、外国国籍区民の地域参画のきっかけとなる場の創出を目指します。	
取組の例	<input type="checkbox"/> 多文化共生を進める人材の育成【再掲】 <input type="checkbox"/> 交流機会の創出【再掲】 <input type="checkbox"/> 多文化共生推進懇談会の拡充【再掲】
区民の声	<p>●地域に外国人が増えることについて、どのように感じますか？</p> <p>…外国の文化を知る機会が増える <b>41.8% (179 件)</b>  <small>日本国籍住民調査 (P33)</small></p> <p>…外国人・外国語に触れる機会が増え、知見が広がる <b>38.7% (99 件)</b>  <small>日本国籍住民調査 (P33)</small></p> <p>…外国に興味・関心を持つきっかけになる <b>52.3% (67 件)</b>  <small>区民意識調査 (P41)</small></p> <p>…外国人の友人・知人が増える <b>47.7% (61 件)</b>  <small>区民意識調査 (P41)</small></p> <p>●区内でどのような交流機会に参加したいですか？</p> <p>…外国の歴史や文化を紹介するイベント <b>26.6% (68 件)</b>  <small>日本国籍住民調査 (P34)</small></p> <p>○音楽・スポーツ・食に関するイベントの実施。顔の見える関係を築くことでトラブルは減っていくと思う。</p> <p>○語学ボランティアなどは行っても良いと考えてはいるが、やるところまでいかない。情報がほしい。</p> <p>○自分も子どもも大きくなったので、パイプ役になれるようにボランティアを行いたい。  <small>外国国籍区民ヒアリング</small></p> <div style="border: 1px solid #4caf50; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>多くの外国国籍等区民にイベントに参加してほしいです。日本には四季折々のイベントがある中で、そこは日本語を習得できる実践の場でもあり、地域に参画できる場がありますので、ぜひ活躍してほしいです。</p> </div> <p style="text-align: right;"><small>多文化共生推進懇談会委員</small></p>

実施する取組⑩ 地域コミュニティへの参加促進	
外国国籍等区民が町会・自治会のイベント等へ参加しやすい環境を整備し、地域コミュニティへの参加を促進します。	
取組の例	<input type="checkbox"/> 町会・自治会と連携した外国国籍区民の受け入れ環境の整備 <input type="checkbox"/> 多文化共生を進める人材の育成【再掲】 <input type="checkbox"/> 交流機会の創出【再掲】
区民の声	<p>●区内でどのような交流機会に参加したいですか？</p> <p>…外国人と交流するコミュニティ <b>30.5%(78件)</b> 【再掲】  <small>日本国籍住民調査 (P34)</small></p> <p>…日本人と交流するコミュニティ <b>48.7%(209件)</b> 【再掲】  <small>外国国籍住民調査 (P40)</small></p> <p>○日本人と外国人でグループワークに参加し、何週間か時間をかけてタスクを達成するチームプロジェクトとかあれば良い。</p> <p>○コミュニティの中で活動している方と連携して、キーマンに情報を発信してもらおうと、もっと情報が届くと思う。  <small>外国国籍区民ヒアリング</small></p> <p>○外国人が様々な活動に参加できる地域づくりが重要だと思う。  <small>すぎなみボイス意見</small></p> <div style="border: 1px solid #4caf50; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>外国国籍等区民の方に、ぜひ自身が住んでいる商店街のことを知ってもらいたいと考えます。「知る」ことで、その地域コミュニティ（商店街）に参加できるきっかけが生まれると思います。日本国籍区民の方も、積極的にコミュニケーションを取り、情報交換したいと思っています。</p> </div> <p style="text-align: right;"><small>多文化共生推進懇談会委員</small></p>

## 実施する取組⑪ 相談機能の充実

多文化共生拠点において、気軽に日常生活に関する相談ができる場を提供します。また、就学前相談や進路相談もできる環境を整えます。

取組の例	<input type="checkbox"/> 多文化共生拠点の設置検討 <input type="checkbox"/> 外国国籍区民を対象とした相談窓口の拡充 <input type="checkbox"/> 日本の文化や歴史に触れる講座等の実施【再掲】 <input type="checkbox"/> 行政情報の多言語化による区民に伝わる広報活動【再掲】
区民の声	<p>●生活をする中で困っていることは？／誰に相談していますか？</p> <p>…身近な生活に関すること（物価・税金・住宅）  <b>26.3% (113件) / 17.5% (75件) / 17.2% (74件)</b></p> <p>…相談先がわからない <b>13.5% (58件)</b></p> <p>…東京都や杉並区の外国人相談窓口 <b>0.9% (4件)</b></p> <p>…誰にも相談しない／相談する相手がない <b>10.0% (43件)</b></p> <p style="text-align: right;">外国国籍住民調査（P38）</p> <p>●安心して暮らせる地域にするために杉並区が進めるべきことは何だと思えますか？</p> <p>…外国人のための相談窓口や機能の充実 <b>25.0% (32件)</b></p> <p>…多文化共生を進めるための拠点の整備 <b>18.0% (23件)</b></p> <p style="text-align: right;">区民意識調査（P42）</p> <p>○日常的な相談、長く住んでいないとわからないこと、専門的なことなど、経験値がある人じゃないとわからないことについて、聞ける人がいない。  <small>外国国籍区民ヒアリング</small></p> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>拠点を整備して就学相談や進路相談に取り組んでいくことは、ニーズも高くとても良いと思います。また、現在は対面による相談が主流ですが、アプリなども活用していけば、もっと気軽に相談できるのではないのでしょうか。</p> </div> <p style="text-align: right;">多文化共生推進懇談会委員</p>

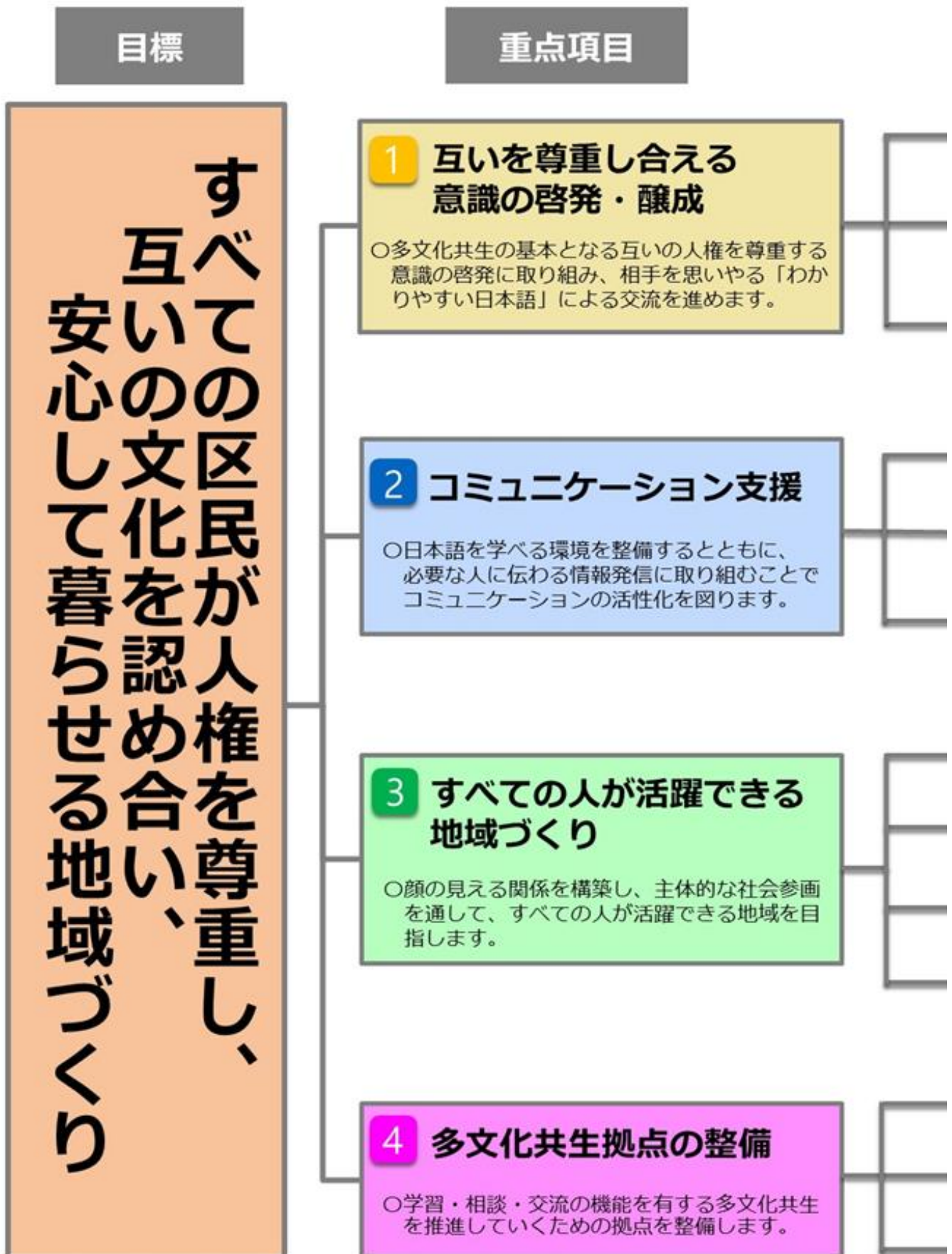
## 実施する取組⑫ 日本語教室の拡充

多文化共生拠点において、外国国籍区民や外国にルーツを持つ日本国籍区民を対象とした子ども日本語教室を実施します。また、日本語がゼロベースの区民を対象とした日本語教室を実施します。

<p>取組の例</p>	<p><input type="checkbox"/> 多文化共生拠点の設置検討【再掲】</p> <p><input type="checkbox"/> 子ども向けの日本語教室の実施【再掲】</p> <p><input type="checkbox"/> 日本語がゼロベースの方を対象とした日本語教室の実施【再掲】</p>
<p style="writing-mode: vertical-rl;">区民の声</p>	<p>●日本語を学んでいますか。または今後学びたいと思いますか？</p> <p>…日本語を学んでいる/学びたい <b>71.3%(306件)</b> 【再掲】  <small>外国国籍住民調査 (P39)</small></p> <p>●安心して暮らせる地域にするために杉並区が進めるべきことは何だと思えますか？</p> <p>…外国人児童のための日本語学習支援 <b>35.2%(45件)</b> 【再掲】</p> <p>…外国人のための日本語学習支援 <b>28.1%(36件)</b> 【再掲】  <small>区民意識調査 (P42)</small></p> <p>○子ども2人は杉並区の日本語教室に数年通って、日本語に不自由なことも無くなっている。  <small>外国国籍区民ヒアリング</small></p> <p>○区の日本語教室に参加したいけど、平日しかなく、仕事があるので参加できない  <small>外国国籍住民調査自由意見</small></p> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>「日本人と日本語教室の時だけでなく、ゆっくり話ができる機会がほしい」という声があり、日本語の学習に加え、相談や交流などの多様な機能を備えた総合的な拠点づくりが必要だと思います。</p> <p>また、区内にあるいろいろな日本語教室の連携・協働が生まれると良いのではないのでしょうか。</p> </div> <p style="text-align: right;"><small>多文化共生推進懇談会委員</small></p>

実施する取組⑬ 相互交流の場の創出	
多文化共生拠点において、日本の四季や伝統文化を学べる交流会を開催します。また、外国の文化を知る場も設けていきます。	
取組の例	<input type="checkbox"/> 多文化共生拠点の設置検討【再掲】 <input type="checkbox"/> 多文化共生を進める人材の育成【再掲】 <input type="checkbox"/> 日本の文化や歴史に触れる講座等の実施【再掲】 <input type="checkbox"/> 外国の文化や歴史に触れる講座等の実施【再掲】
区民の 声	<p>●安心して暮らせる地域にするために杉並区が進めるべきことは何だと思えますか？</p> <p>…日本人と外国人が交流するためのイベントの実施 <b>23.4% (30件)</b></p> <p>…国内外の文化を理解するための機会の創出 <b>20.3% (26件)</b></p> <p style="text-align: right;">区民意識調査 (P42)</p> <p>●区内でどのような交流機会に参加したいですか？</p> <p>…外国人と交流するコミュニティ <b>26.8% (115件)</b></p> <p>…地域で開催されるお祭り <b>26.6% (114件)</b></p> <p style="text-align: right;">外国国籍住民調査 (P40)</p> <p>○特別なイベントより、日常生活の中で困りごとなどを解消できるような取組が必要。</p> <p>○日本人と外国人に日本語ができる外国人を加えて交流する。お互いの気持ちをわかろうとしないといけないと溝が埋まらない。</p> <p style="text-align: right;">外国国籍区民ヒアリング</p> <div style="border: 1px solid green; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-top: 10px;"> <p>調査結果では、「国内外の文化を理解するための機会の創出」や、「日本人と外国人が交流するためのイベントの実施」を求めている声が多く、相互交流できる機会を設けることが必要と感じました。お互いの理解を深める機会にしていきたいですね。</p> </div> <p style="text-align: right;">多文化共生推進懇談会委員</p>

### 3. 杉並区多文化共生基本方針体系図



## 実施する取組

①人権と子どもの権利の擁護

②「やさしい日本語」の普及・啓発

③国内外の文化を相互理解する取組

④日本語教育機会の確保

⑤行政情報の多言語化

⑥受け手の立場に立った伝わる情報発信

⑦安全・安心な生活の確保

⑧多文化共生を進める人材の育成

⑨地域人材の活躍の場の提供

⑩地域コミュニティへの参加促進

⑪相談機能の充実

⑫日本語教室の拡充

⑬相互交流の場の創出

## 取組の対象となる 主な杉並区実行計画事業等

- ・人権尊重の啓発等の推進
- ・子どもの権利が尊重される地域社会の実現
- ・ヤングケアラー支援の推進
- ・包括的な支援体制の構築
- ・子どもの貧困対策の推進
- ・子どもの命と安全を守る児童相談体制の構築
- ・多文化共生・国内外交流の推進

- ・外国人児童生徒の就学機会の確保
- ・感染症対策の推進
- ・二十歳のつどい
- ・まちづくり施策の総合的推進
- ・ユニバーサルデザインのまちづくり推進
- ・魅力的な観光情報発信の推進
- ・アニメを活用した誘客促進
- ・ごみの排出マナー向上と良好な集積所環境の確保

- ・木造住宅密集地域等の解消に向けた不燃化促進
- ・備蓄物資の充実
- ・発災時に備えた体制づくりと自治体間連携の推進
- ・防犯力が高いまちづくり
- ・地域防犯対策の推進
- ・消費者被害防止対策の推進
- ・地域活動を担う人材の育成・支援
- ・介護サービス基盤の整備
- ・地域活動団体への支援

- ・生活困窮者やひきこもり等への自立支援体制の充実
- ・妊娠から子育て期の切れ目のない支援の充実
- ・より良い子どもの居場所づくりの推進
- ・学び続ける力の育成
- ・就学援助
- ・地域における子育て支援体制の充実
- ・地域活動拠点の整備
- ・学童クラブの整備・充実

## 4. 杉並区多文化共生基本方針の推進体制

### (1) 杉並区多文化共生推進懇談会

○杉並区が多文化共生基本方針の策定に当たっては、方針の内容および多文化共生社会の推進に関する事項について広く意見を聴くことを目的に学識経験者、学校関係者、外国にルーツを持つ住民代表者などから構成される杉並区多文化共生推進懇談会を令和6（2024）年度に設置しました。

全4回実施した杉並区多文化共生推進懇談会においては、専門的見地からのご意見、ご助言のほか、地域の声を届けていただき、またアンケート等の分析も行っていました。

○杉並区多文化共生基本方針策定後の令和7（2025）年度以降は、現在の委員に加えて杉並区内で外国国籍等区民を対象とした活動を行う団体や外国国籍等区民にもご参加いただき、新たな形で実施していきます。

この新たな懇談会では、杉並区多文化共生基本方針に基づき実施する多文化共生推進事業の検証をはじめ、今後の多文化共生の推進に係る方向性などについて、より多くの方の意見を踏まえて検討・議論していきます。



多文化共生推進懇談会の様子

### (2) 庁内調整会議

○方針に基づき多文化共生の取組を推進していくためには、杉並区の職員一人ひとりが課題や取組を理解し、仕事を進めていく必要があります。

庁内調整会議を立ち上げ、多文化共生の推進にかかる取組状況の把握や情報の共有を図るとともに、関係各課と必要な連携を行っていきます。



### (3) 杉並区多文化共生推進懇談会の経過

第1回 杉並区多文化共生推進懇談会（教育委員会室）	
日 時	令和6年4月23日（火）18:30～20:30
内 容	・懇談会の位置づけ ・区民意向アンケート ・（仮称）杉並区多文化共生基本方針の策定スケジュール ほか

第2回 杉並区多文化共生推進懇談会（第7会議室）	
日 時	令和6年7月9日（火）18:30～20:30
内 容	・区民意向アンケートの実施結果 ・（仮称）杉並区多文化共生基本方針 ほか

第3回 杉並区多文化共生推進懇談会（教育委員会室）	
日 時	令和6年10月3日（木）18:30～20:30
内 容	・杉並区多文化共生基本方針（案） ・今後の取組 ほか

第4回 杉並区多文化共生推進懇談会（教育委員会室）	
日 時	令和7年1月16日（木）18:30～20:30
内 容	

## 1. 多文化共生実態調査の概要

### (1) 目的

この調査は、杉並区内の外国国籍住民及び日本国籍住民の意識・要望を把握し、その結果を、「杉並区多文化共生基本方針」の策定に反映させ、今後の多文化共生に向けた事業展開に役立てることを目的として実施したものです。

### (2) 調査方法

調査名	日本国籍住民調査	外国国籍住民調査	区民意識調査
調査地域	杉並区内全域	杉並区内全域	杉並区内全域
調査期間	令和6(2024)年 4月15日～ 4月30日	令和6(2024)年 5月24日～ 6月28日	令和6(2024)年 8月1日～ 8月31日
調査対象	18歳以上の日本国籍住民 2,000人	18歳以上の外国国籍住民 2,000人	区民
抽出方法	住民基本台帳からの 無作為抽出	住民基本台帳からの 無作為抽出	—
調査方法	郵送またはウェブ回答	郵送またはウェブ回答	ウェブ回答
仕様言語	日本語	やさしい日本語、英語、 中国語、韓国語、 ネパール語	やさしい日本語

### (3) アンケート調査の回収状況

	日本国籍住民調査	外国国籍住民調査	区民意識調査
標本数 : A	2,000	2,000	—
郵便物未着数 : B	—	47	—
調査対象数 : C=A-B	—	1,953	—
有効回答数 : D	256	429	128
有効回答率 : E=D/C*100	12.8%	21.9%	—

### (4) 外国国籍区民ヒアリング

アンケート調査の結果を補完することを目的に、アンケート調査にてインタビュー協力の意思表示があった方に対して、対面でインタビュー形式のヒアリングを実施しました。

	内 容
対象者	18歳以上の外国国籍住民 2,000人 杉並区内・近隣日本語学校の留学生
期 間	令和6(2024)年6月24日～7月22日
人 数	27人

### (5) 外国国籍の子どもヒアリング

子ども日本語教室に通う児童・生徒に対して、対面でインタビュー形式のヒアリングを実施しました。

	内 容
対象者	杉並区内の子ども日本語教室の児童・生徒
期 間	令和6(2024)年10月16日～10月17日
人 数	17人(小学生8人、中学生9人)

### (6) すきなみボイス

「すきなみボイス」は、杉並区が発信するテーマについて、区民の皆さんをはじめとした様々な方が、意見やアイデアを出し合い、コミュニケーションを行うためのオンラインツールであり、杉並区が目指す多文化共生に関して64件の意見をいただきました。

この「すきなみボイス」の意見は、右二次元コードからご覧いただくことができます。



「すきなみボイス」HP

### (7) 報告書の見方

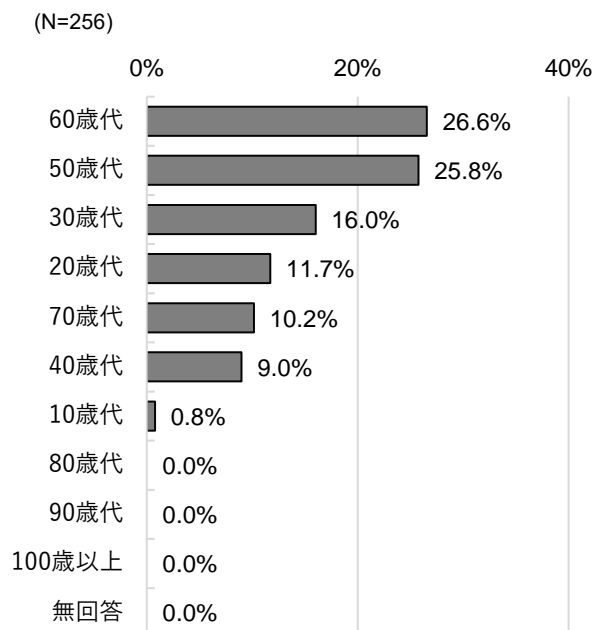
- グラフの「N (number of case)」は、質問項目に対する回答者数を表しています。
- 回答比率は百分率(%)で表し、小数点第2位を四捨五入して算出するため、単数回答であっても合計が100.0%にならない場合があります。
- 質問項目に「複数回答」とあるものに関しては、1人の回答者が複数の選択肢に回答することができる質問項目であるため、すべての回答比率を合計すると100.0%を超える場合があります。
- アンケート調査の自由記述、ヒアリング結果は、基本的に回答いただいたとおりに掲載しています。ただし、固有名詞・個人が特定される事項等は別の表現に置き換えまたは削除しています。

また、【主な意見】として掲載している内容は、代表的・特徴的な意見の要旨をとりまとめて紹介しています。

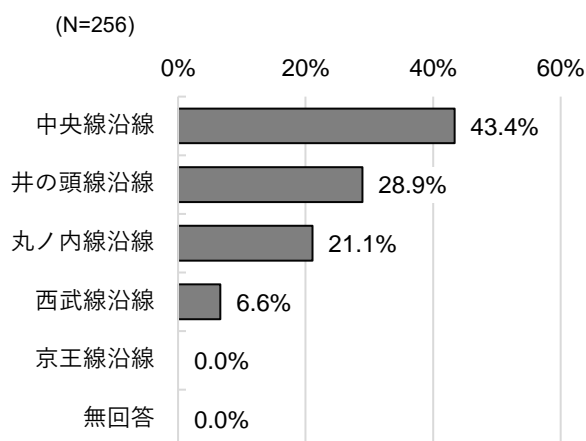
## 2. 調査結果

### (1) 日本国籍住民調査

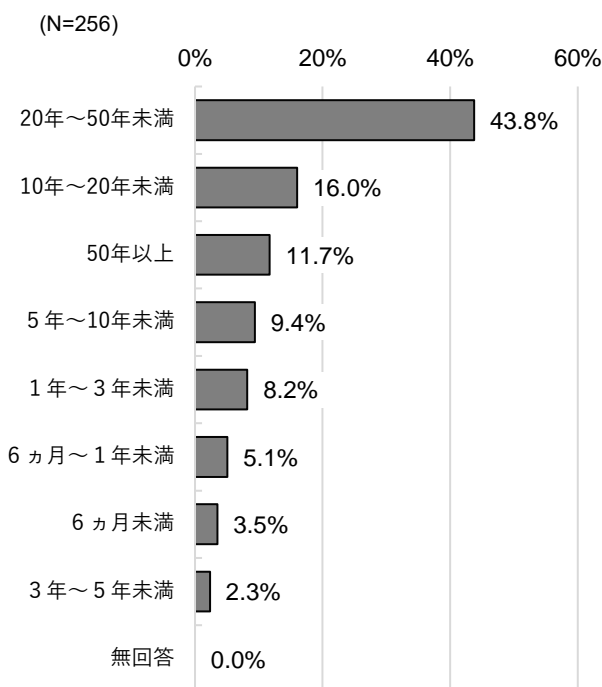
- ◆ あなたの年齢は次のどれですか。  
(単一回答)



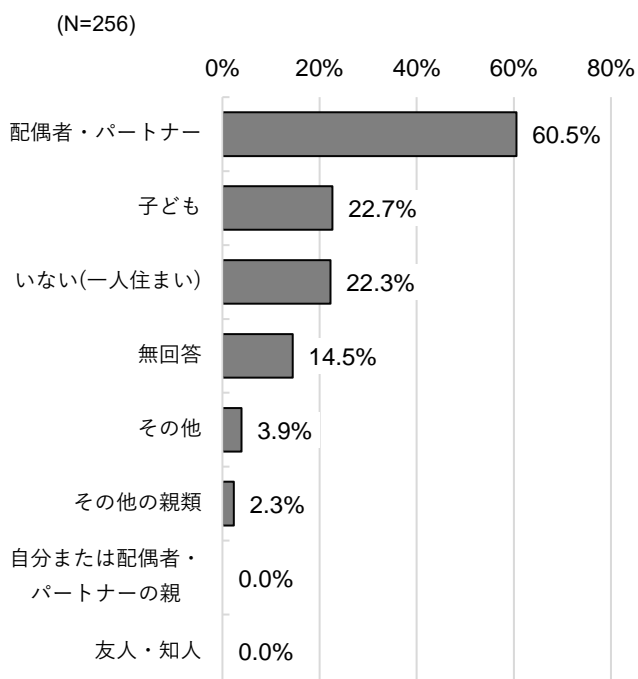
- ◆ あなたの住んでいるところはどこですか。(単一回答)



- ◆ あなたはどのくらい日本に住んでいますか。(単一回答)



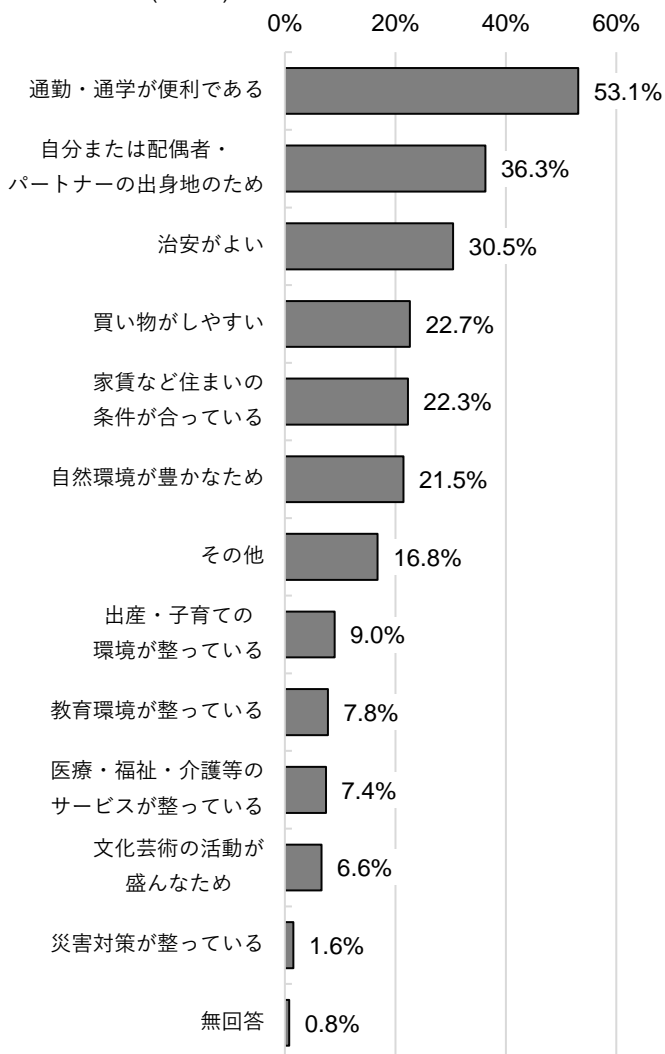
- ◆ あなたが一緒に住んでいる人は誰ですか。(複数回答)



Q1. 杉並区に住んだ要因は何ですか。

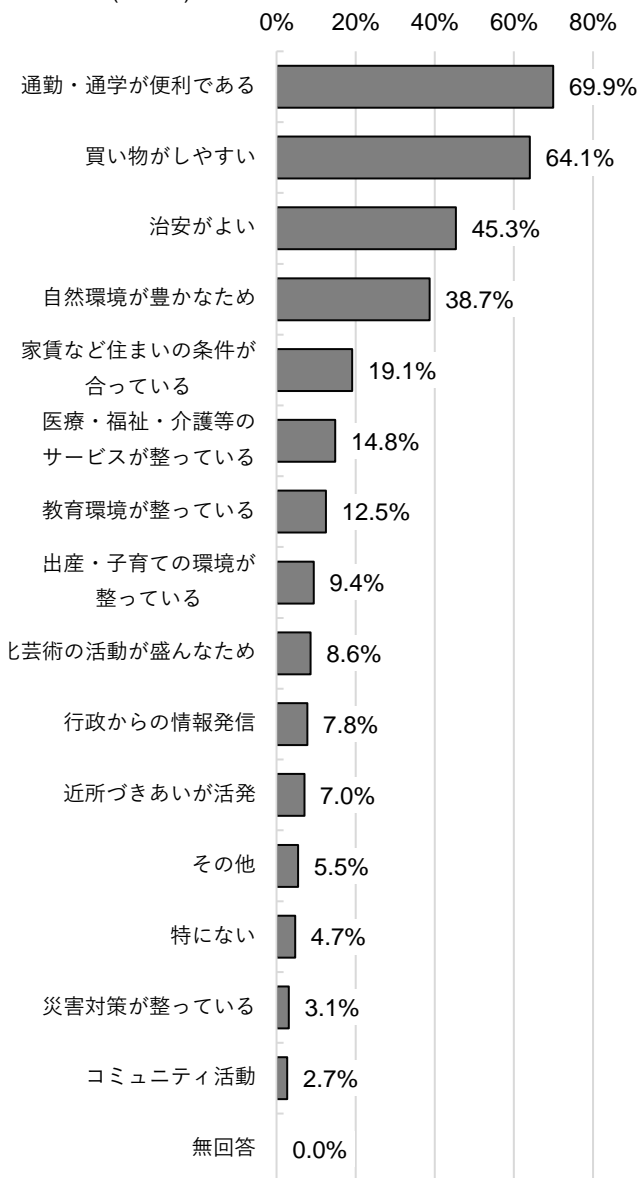
(複数回答)

(N=256)

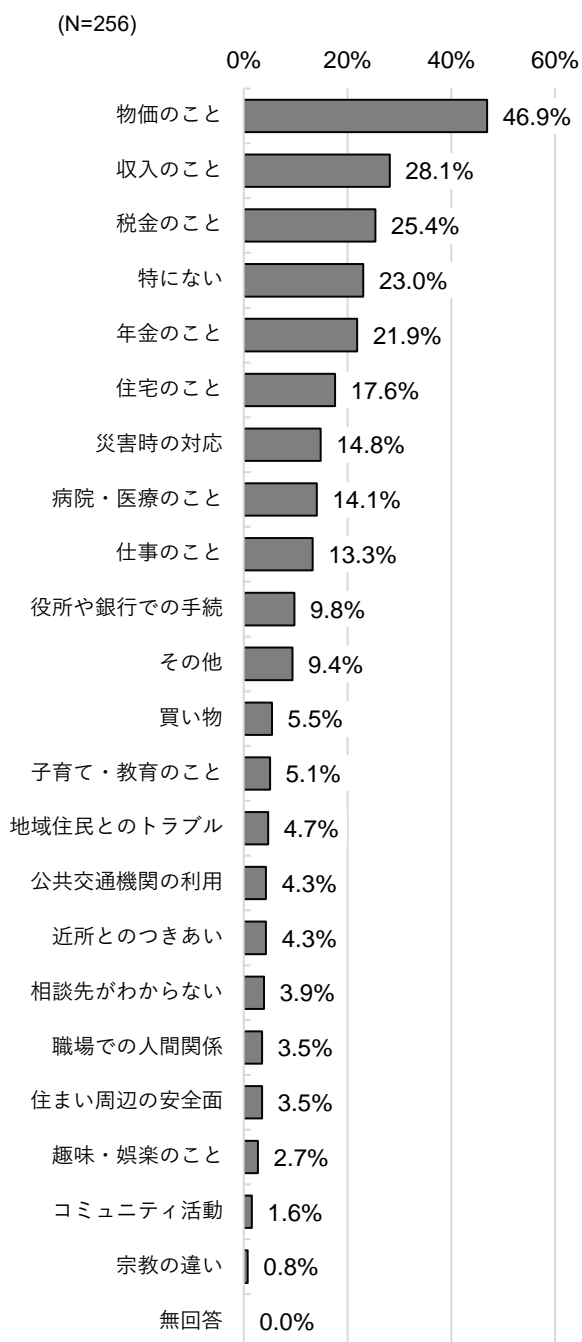


Q2. 杉並区で実際に生活をして住みやすいと感じる点がありますか。(複数回答)

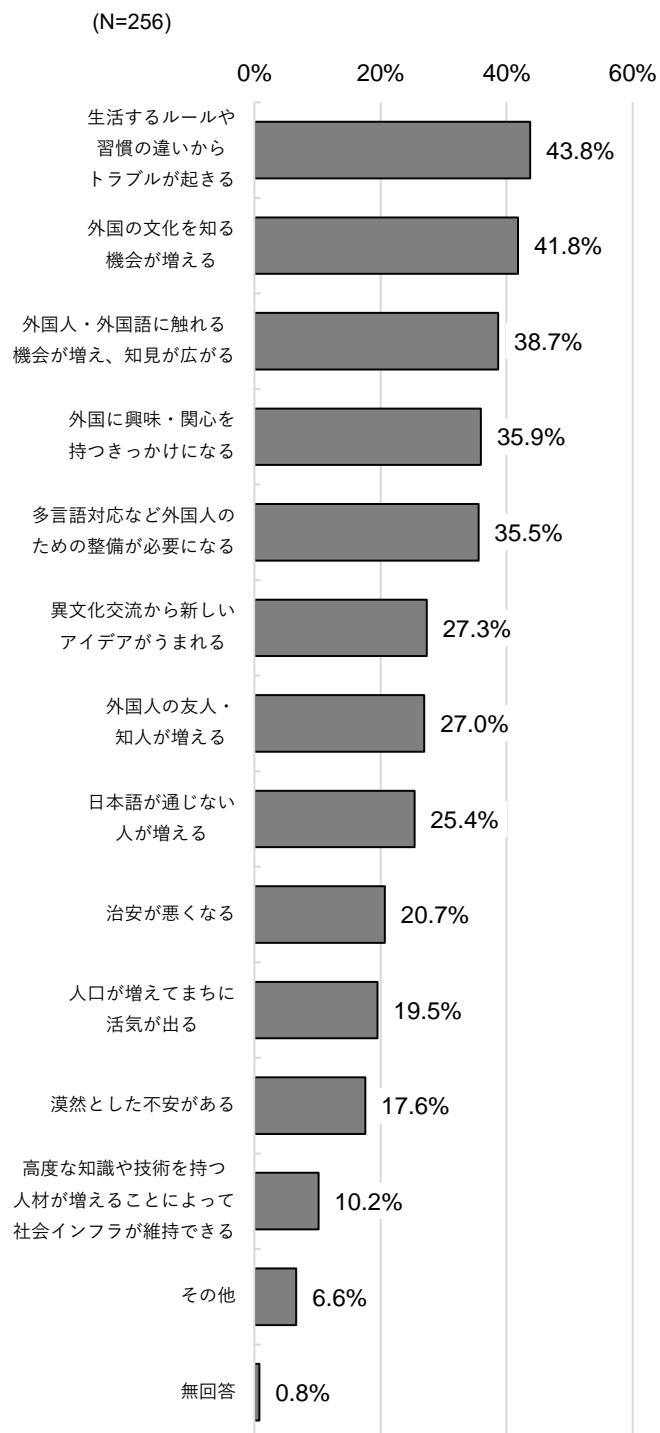
(N=256)



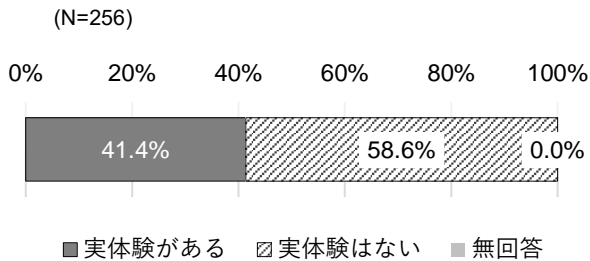
Q3. 生活をする中で困っていることは何ですか。(複数回答)



Q4. 地域に外国人が増えていくことについて、どのように感じますか。(複数回答)



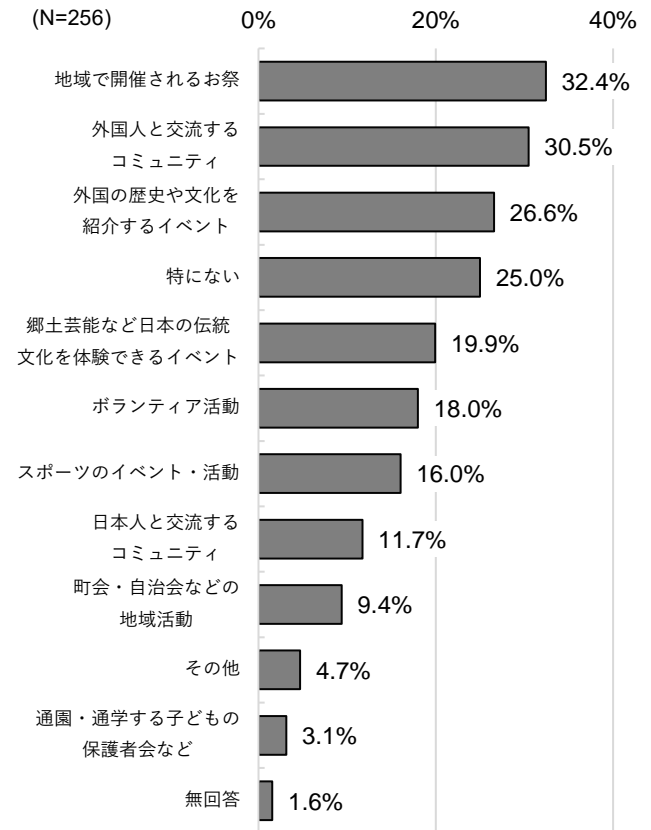
**Q5. Q4 で答えた理由は自分の実体験から思ったことですか。(単一回答)**



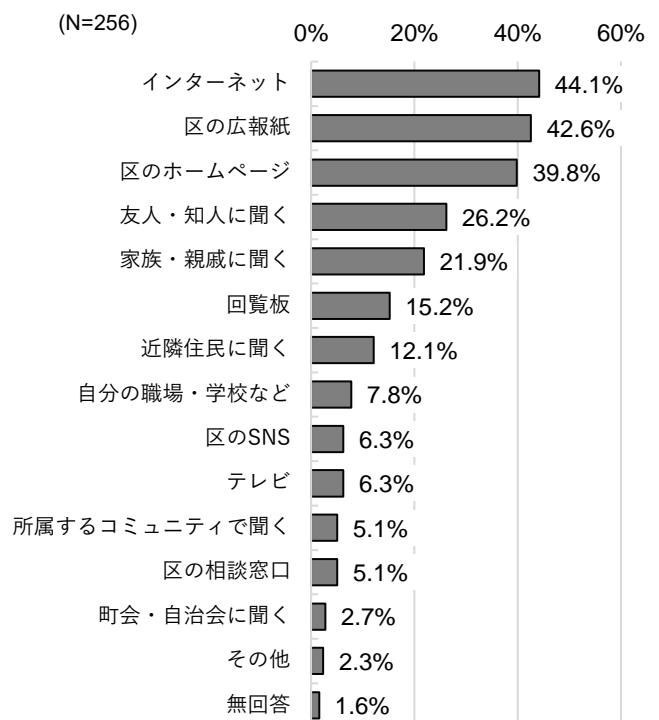
**Q5-2. 実体験があると答え方はその内容を教えてください。**

- 外国人と友人になり、出身国を訪問する機会を持つことができ、現地の生活、風習、空気感、陰の部分も含め、文章だけではなかなか知ることのできない経験を得た。
- 職場では外国人の方が多く、意見や価値観の違う場面があるが、それを受け入れれば新しい方法が見つかることも多い
- ルール、生活習慣のちがいがから騒音問題が発生した。
- 家族が住んでいる団地には移住者家族が住んでおり、ゴミの分別、言葉や環境の相違により、トラブルがある。
- 留学生を支援する活動で、大学生のカウンセラーをしました。日本語を勉強して日本の大学に入学し、日本の技術と知識を一生懸命学習する学生の姿は、いずれ、日本と世界を結ぶ国際社会で活躍できる優秀な人材になると思います。

**Q6. 居住地域や区内でどのような交流機会に参加したいですか？(複数回答)**

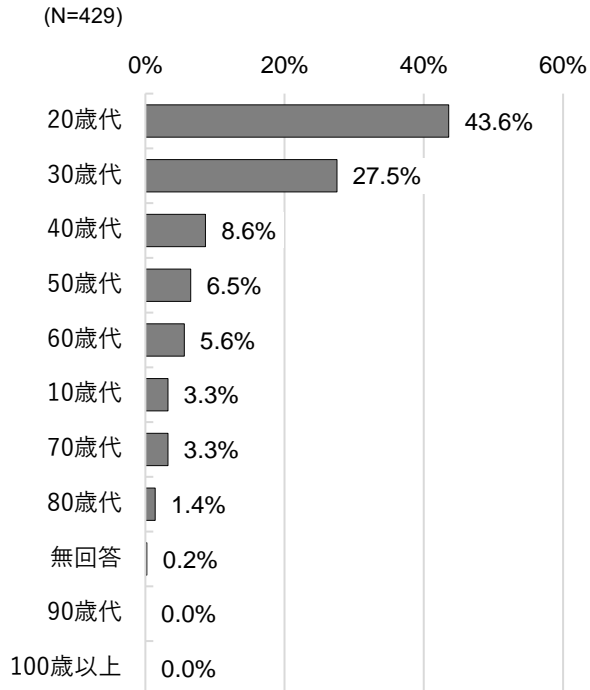


**Q7. 杉並区での生活に必要な情報をどこから得ていますか。(複数回答)**

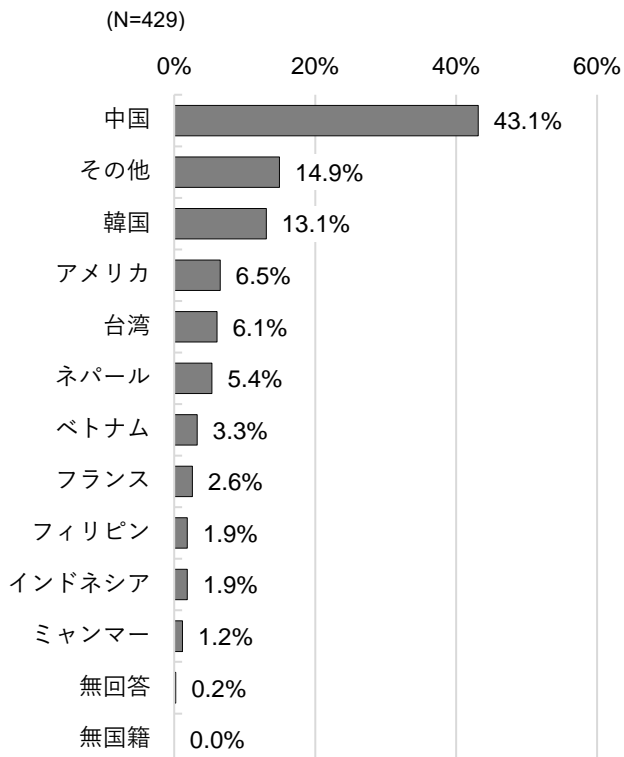


## (2) 外国国籍住民調査

- ◆ あなたの年齢は次のどれですか。  
(単一回答)



- ◆ あなたの国籍・出身地域は次のどれですか。(単一回答)

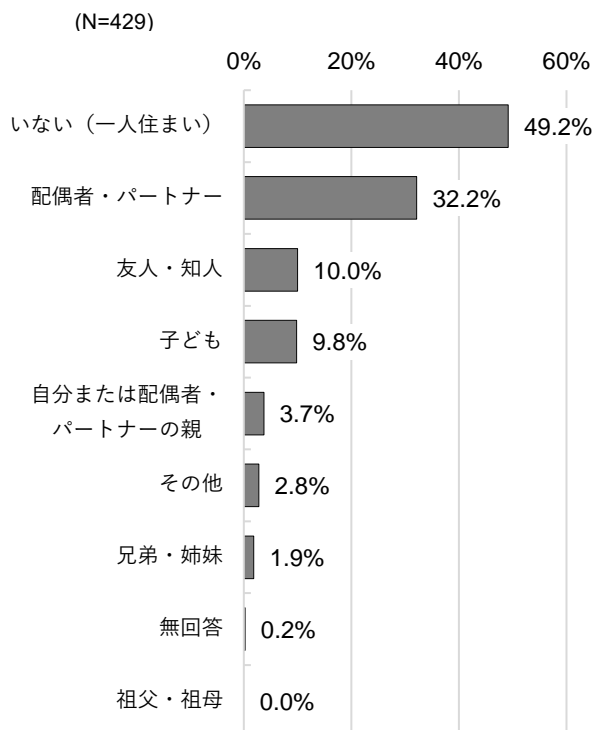


- ◆ あなたの在留資格は次のどれですか。  
(単一回答)

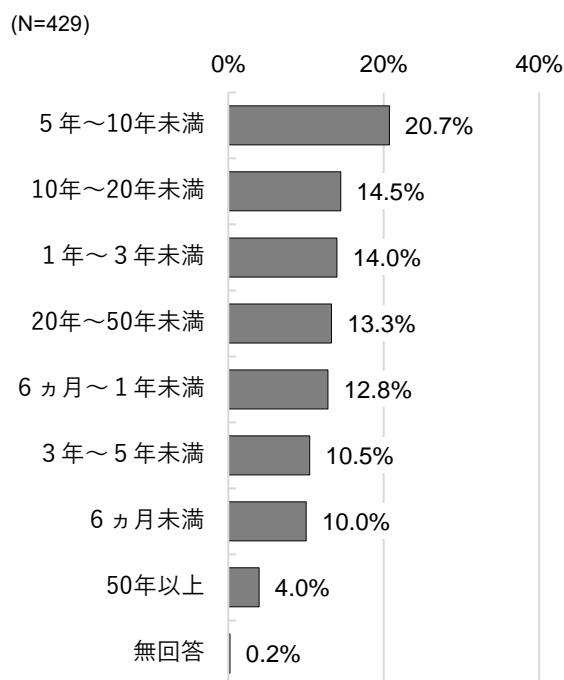




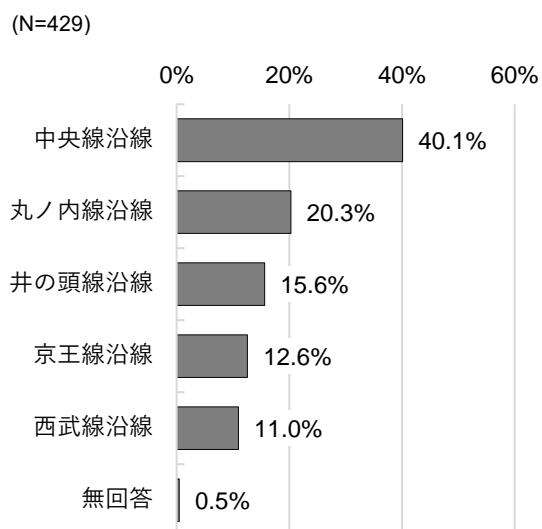
◆ あなたが現在一緒に住んでいる人は誰ですか。(複数回答)



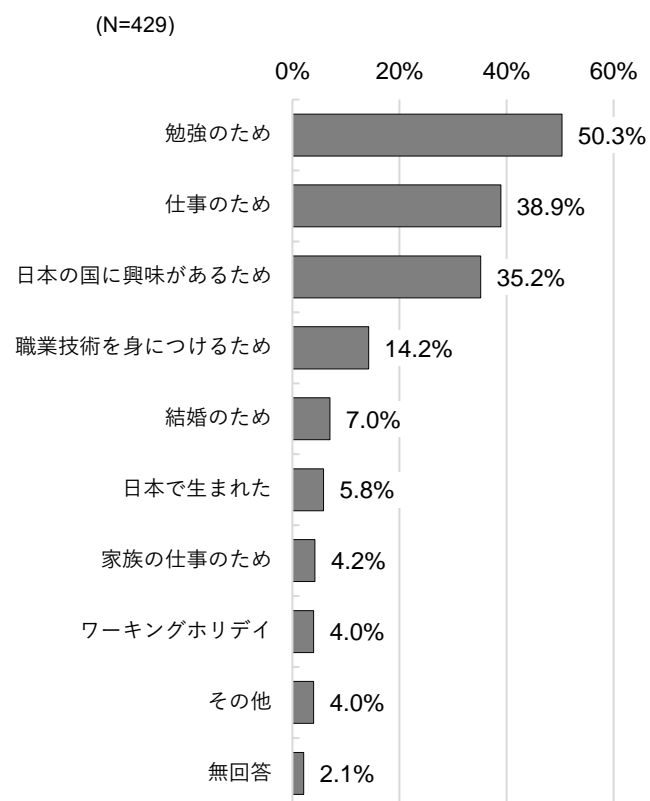
◆ あなたはどのくらい日本に住んでいますか。(単一回答)



◆ あなたの住んでいるところはどこですか。(単一回答)



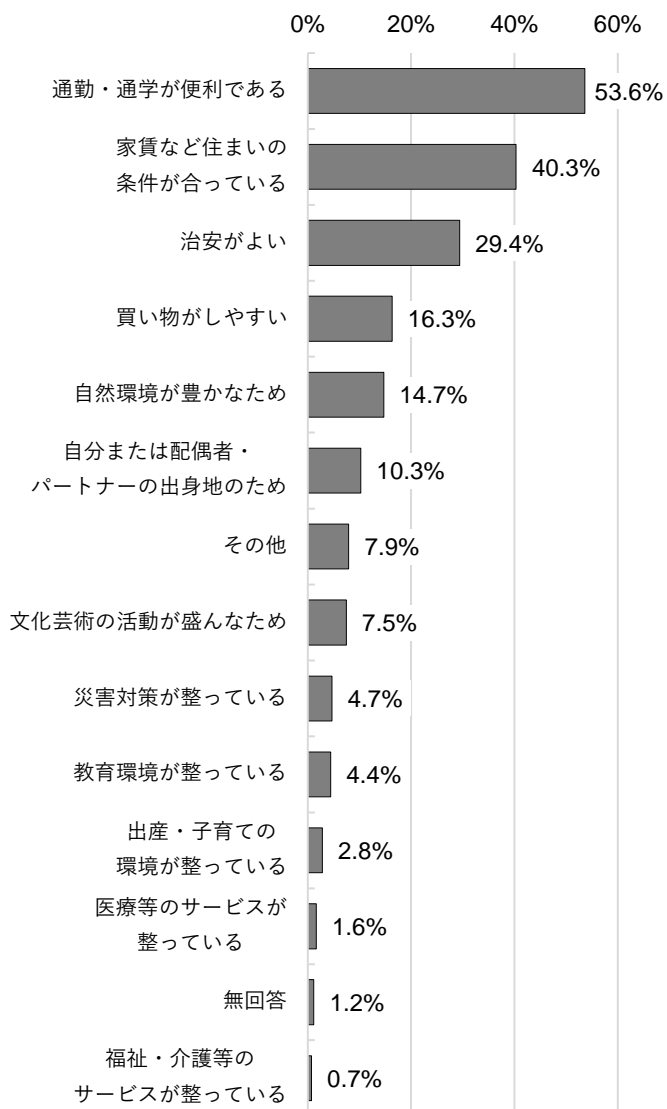
Q1. 日本に来た目的は何ですか。(複数回答)



Q2. 杉並区に住んだ要因は何ですか。

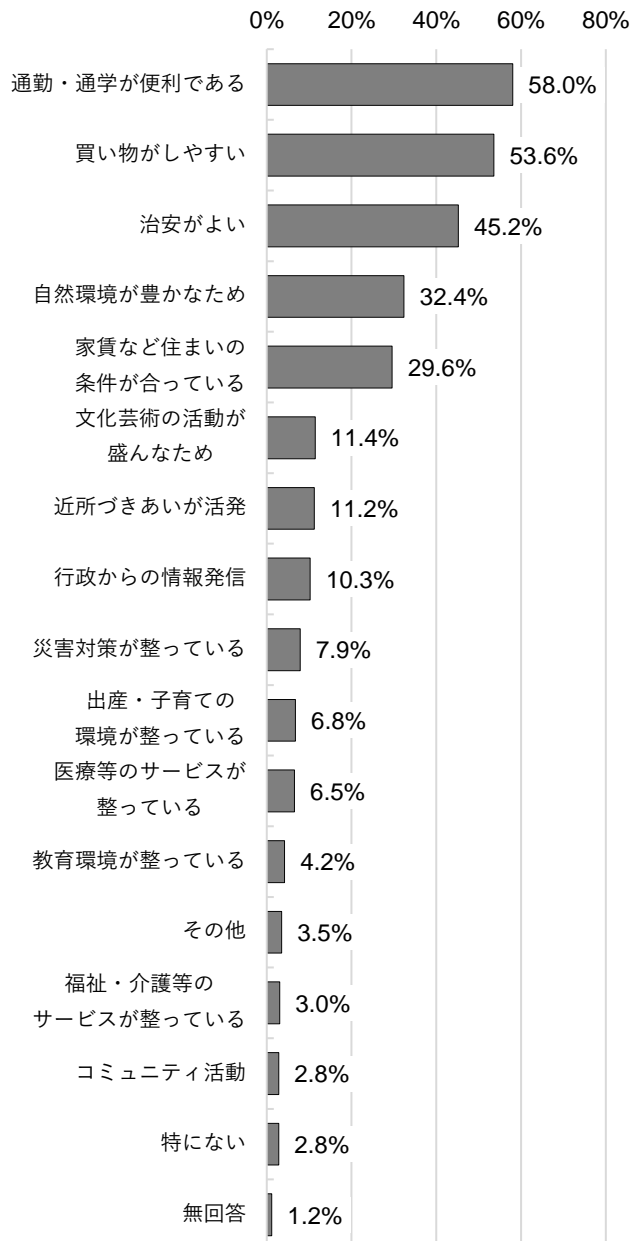
(複数回答)

(N=429)

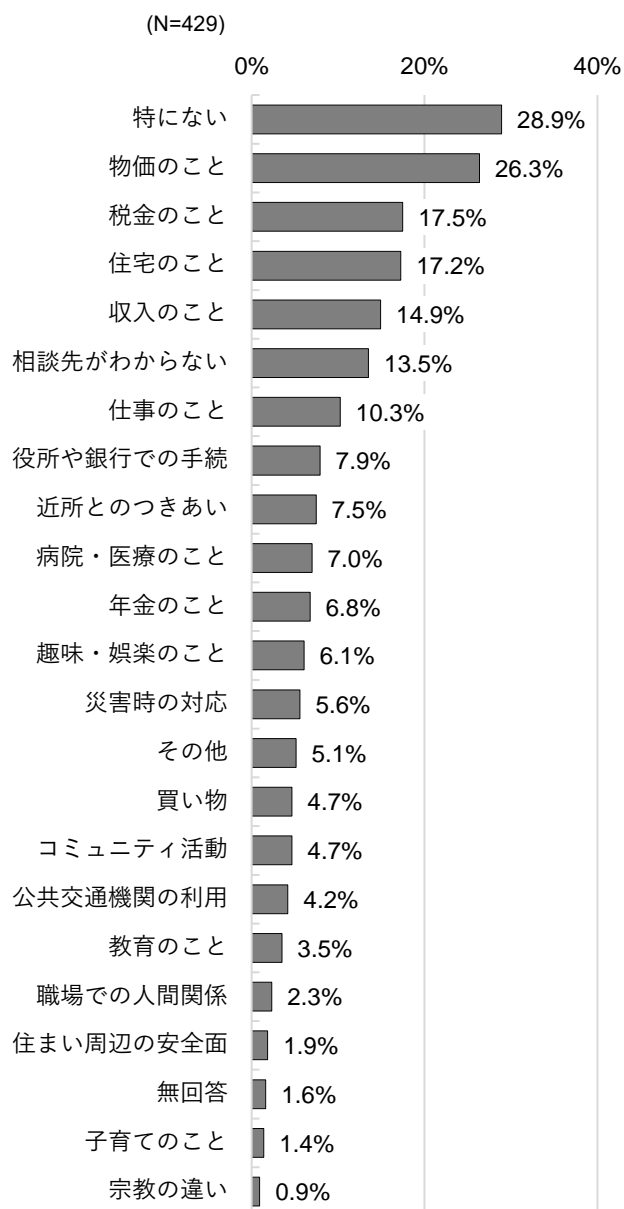


Q3. 杉並区で実際に生活をして住みやすいと感じる点がありますか。(複数回答)

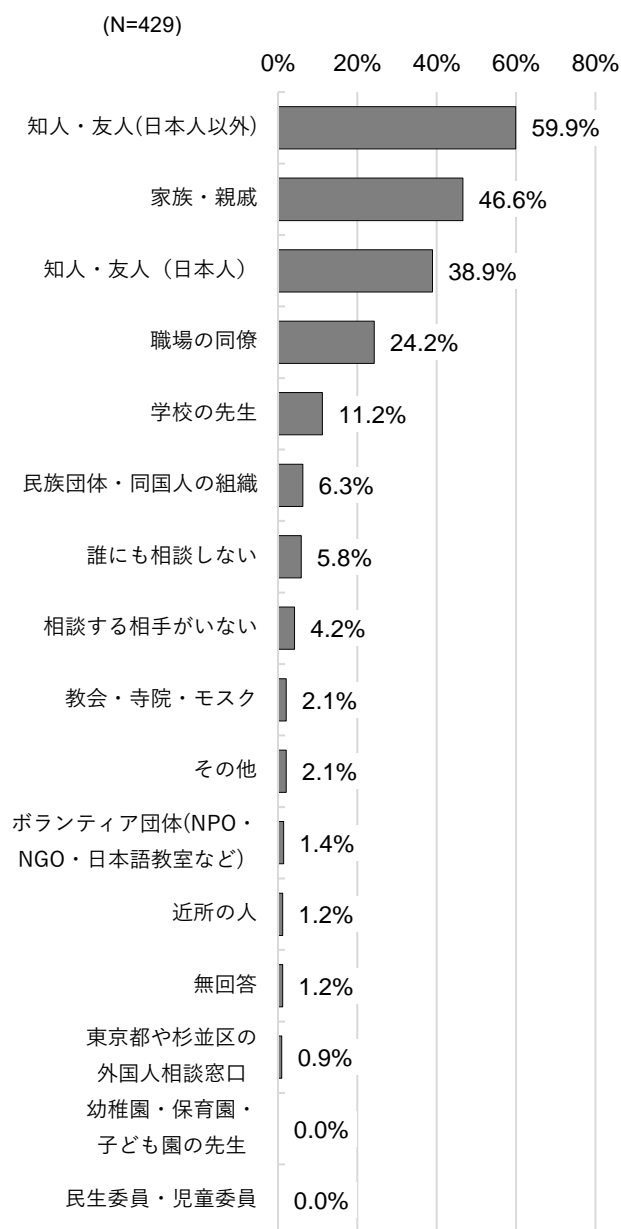
(N=429)



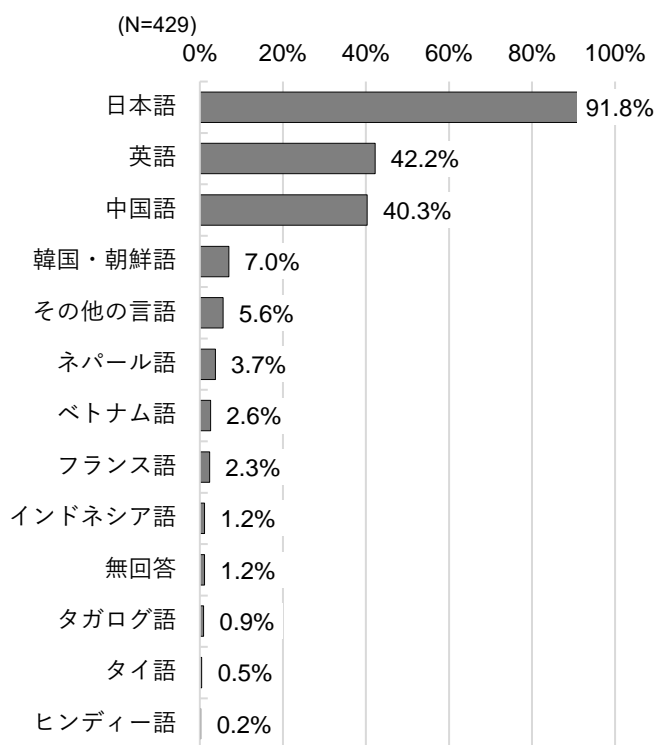
Q4. 生活をする中で困っていることは  
何ですか。(複数回答)



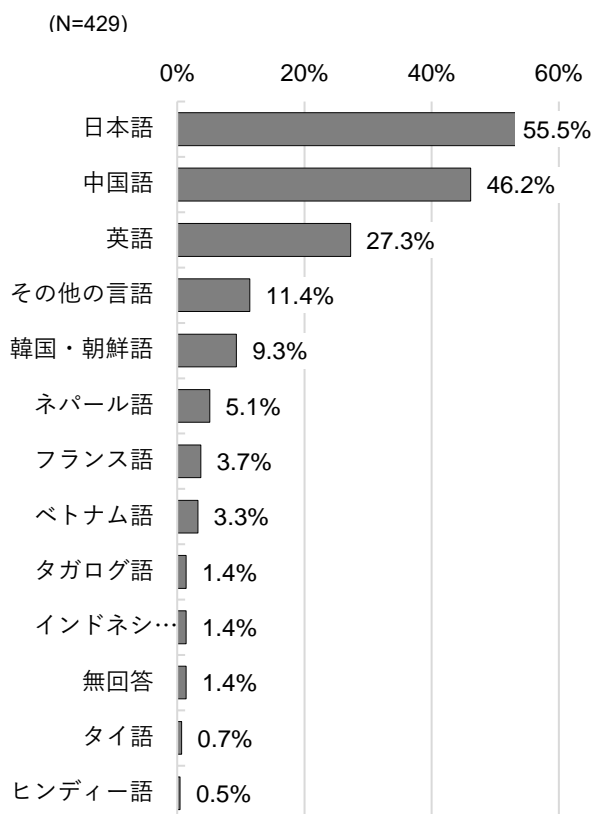
Q5. 日常生活で困ったときは誰に相談  
していますか。(複数回答)



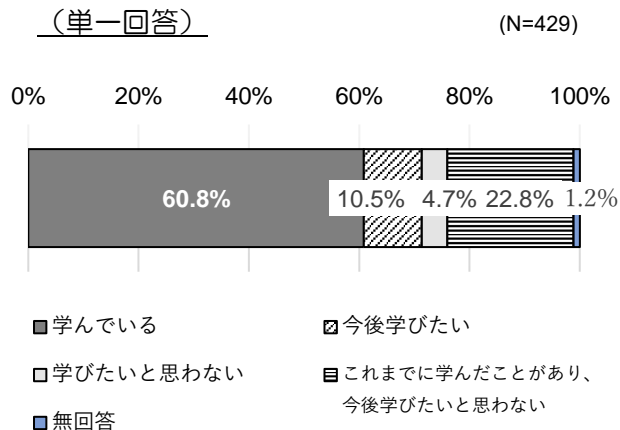
Q6. 普段の生活(仕事、学校など)の中で  
使う言語はどれですか。(複数回答)



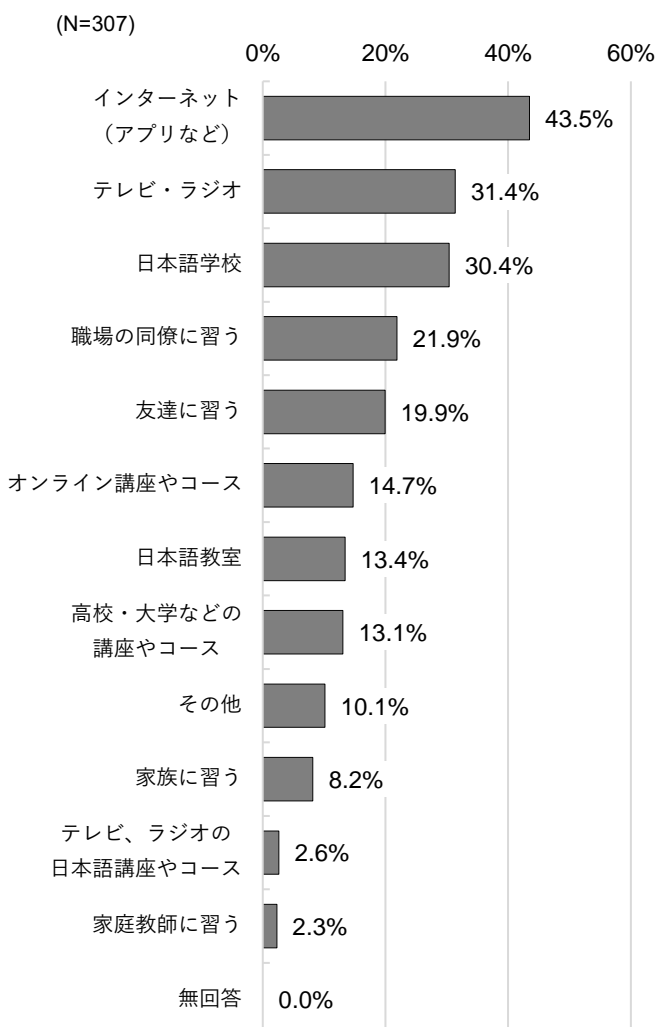
Q7. 家族や友人と話すときに使う言語は  
どれですか。(複数回答)



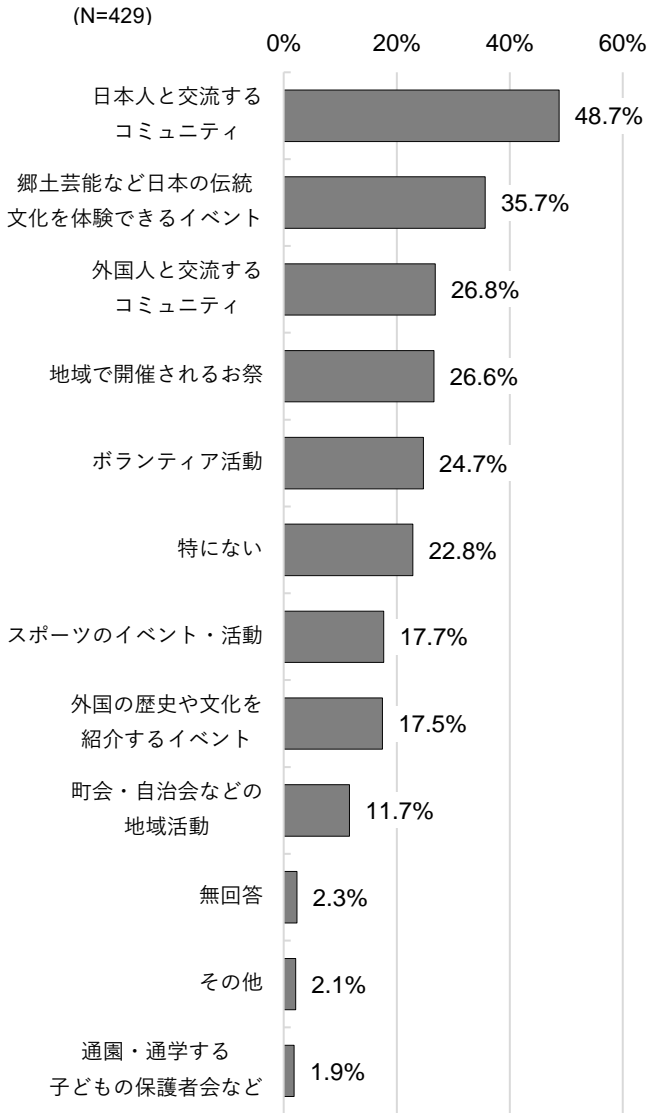
Q8. あなたは日本語を学んでいますか。  
または今後学びたいと思いますか。  
(単一回答)



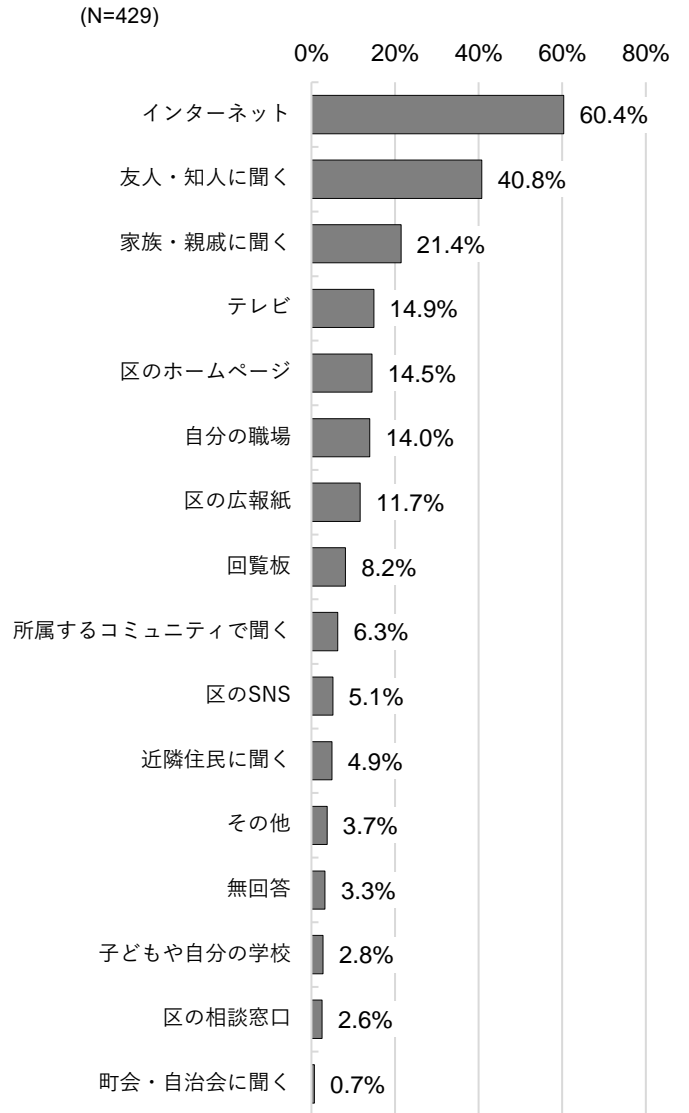
Q9. Q8で『1. 学んでいる』、『2. 今後学  
びたい』に○をした方に聞きます。日本  
語をどのような方法で学んでいますか。  
または学びたいですか。(複数回答)



Q10. 住んでいる地域や区内でどのような交流機会に参加したいですか？  
または、あるといいと思いますか。  
(複数回答)

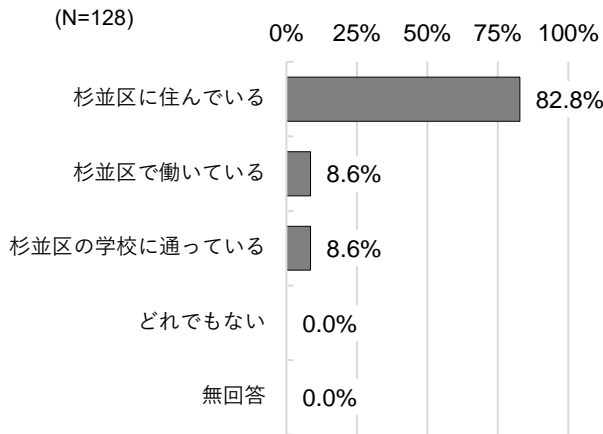


Q11. 杉並区での生活に必要な情報をどこから得ていますか。(複数回答)

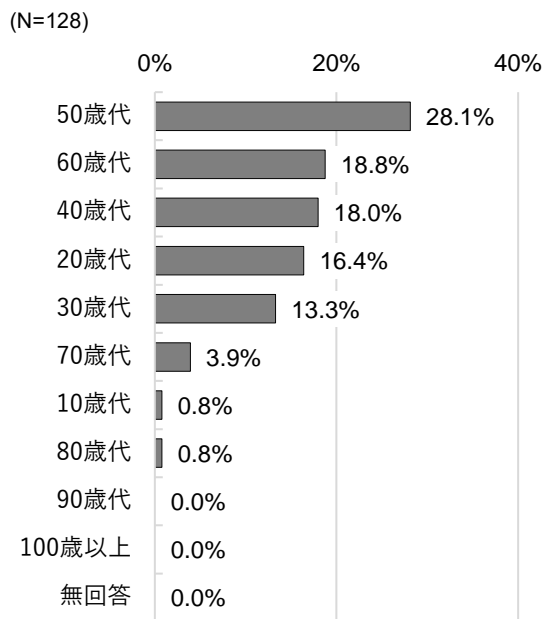


### (3) 区民意識調査

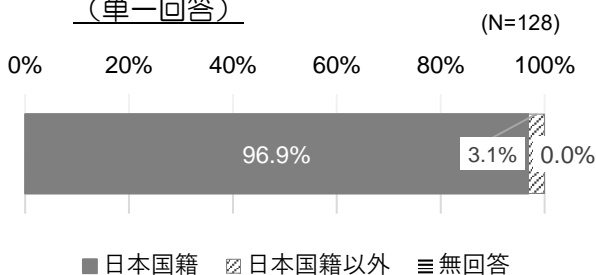
Q1. あなたは以下のどれに当てはまりますか。(単一回答)



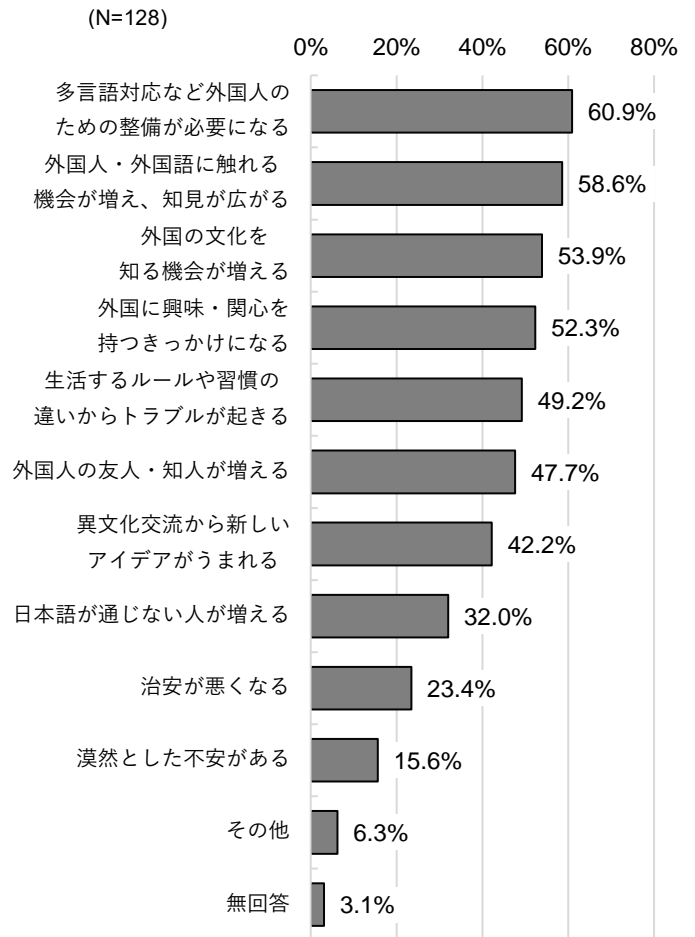
Q2. あなたは何歳ですか。(単一回答)



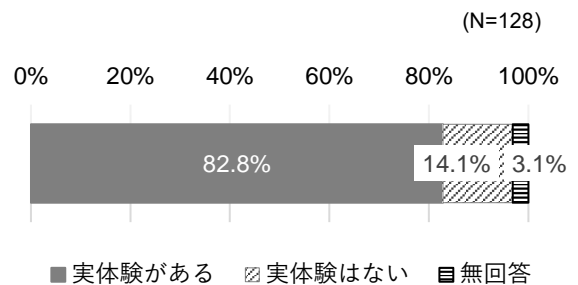
Q3. あなたの国籍は以下のどちらですか。(単一回答)



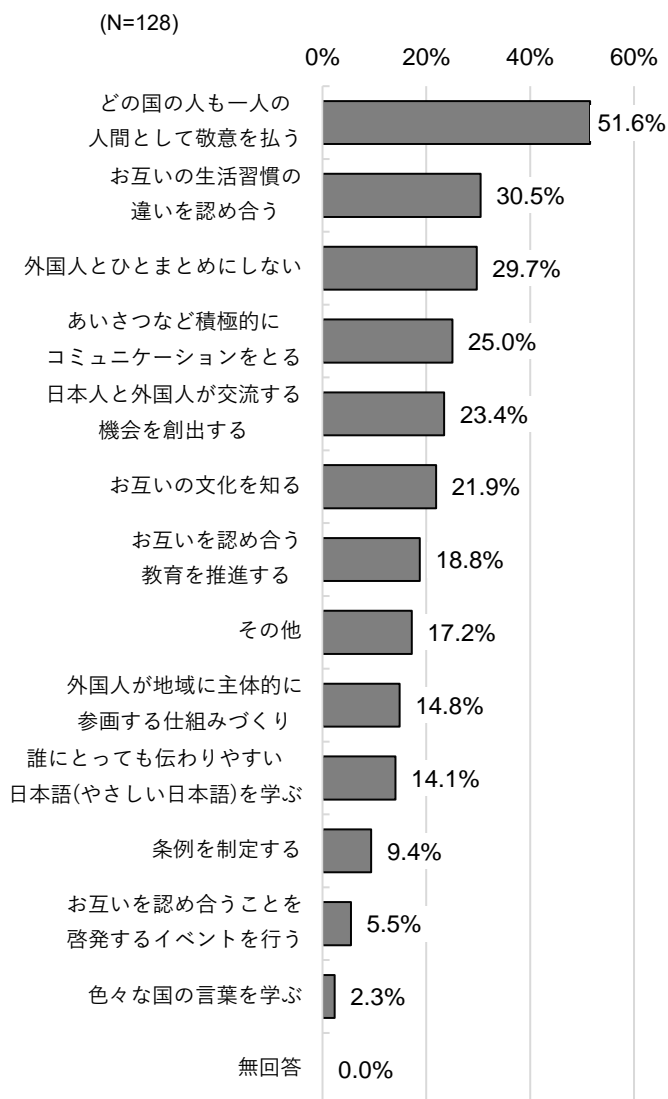
Q4. 地域に外国人が増えることについて、あなたが思うことを教えてください。(複数回答)



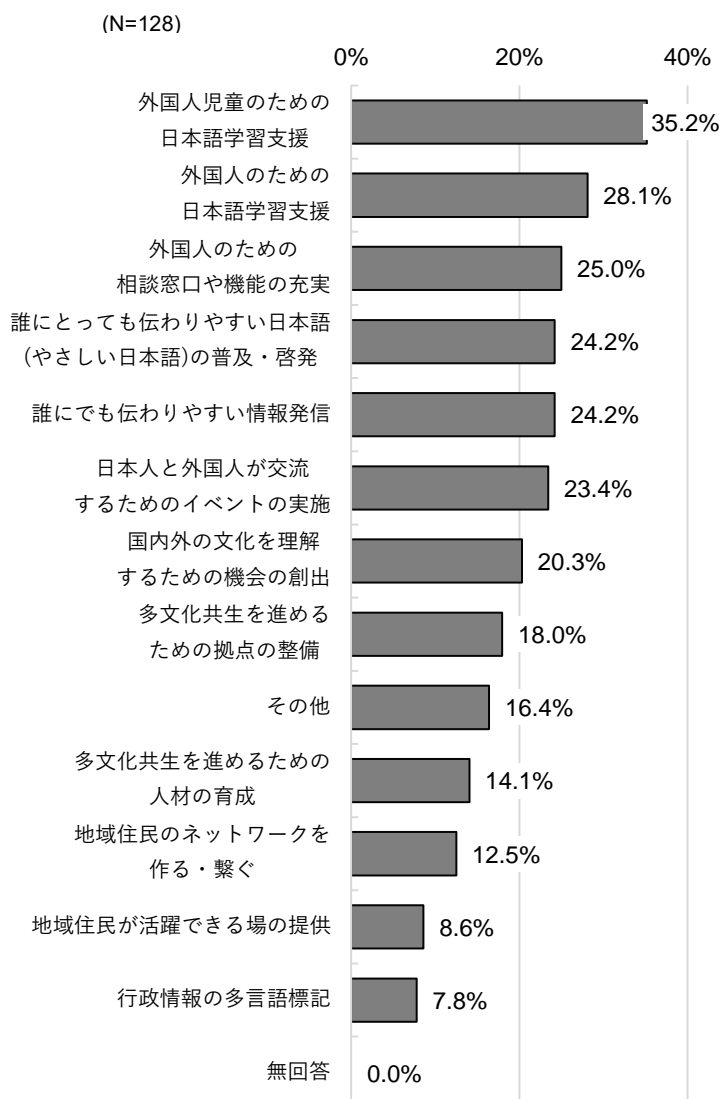
Q5. Q4 で答えた内容は自分の実体験から思ったことですか。(単一回答)



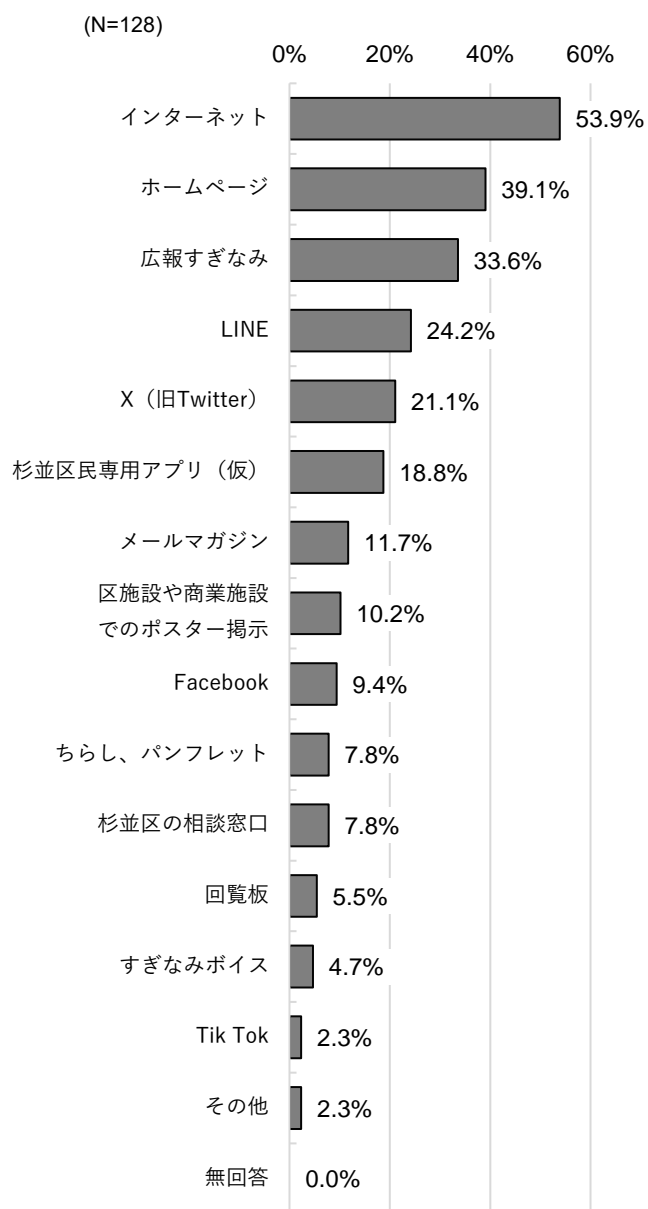
Q6. 国籍や外見による差別や偏見、ハイトスピーチを無くし、互いの人権を尊重し合える関係を作るために必要だと思うことは何ですか。(3つまで選択可)



Q7. お互いの文化を認め合い、すべての区民が安心して暮らせる地域にするために杉並区が進めるべきことは何だと思いますか。(3つまで選択可)



Q8. 杉並区の情報発信について、どの方法  
が受け取りやすいですか。(3つまで選  
択可)





## (4) 外国国籍区民ヒアリング

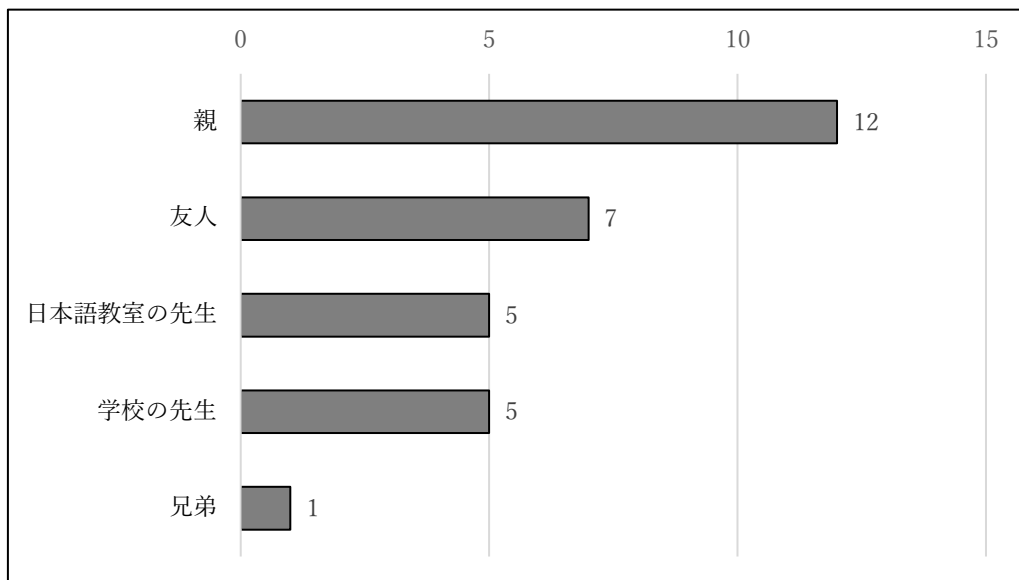
### 【主な意見】

- ① 日常生活をする中で困っていることは何か。
  - 不動産屋では外国人というだけで門前払いされた
  - 自分の生活に深く関わる情報が母語で受け取れないことが大変
  - 文化の違いが壁になって今でも新しい友達がなかなかできない。
  - 銀行口座を開設するのに時間がかかった。
- ② 日常生活での相談先について
  - 外国人同士だと解決できないことは日本人の知人・友人に相談した
  - 日常的な相談について分野によっては、聞く相手がいない。
  - 仕事の同僚、母親。それでもわからなければ参考までに外国人に聞く程度
- ③ 生活に必要な情報をどこから得ているか。また、どのような情報が必要か。
  - 大切な情報を伝わりやすく(多言語ややさしい日本語で)伝達することが必要。
  - 外国人受け入れのある学校・幼稚園の情報や、病院の情報、家の契約方法、銀行口座の開き方が難しいので、情報提供してほしい。
  - 調べる時は Google や yahoo などの検索エンジンを使う。情報が散在していて探しづらい。
  - 外国人向け情報が集約されたポータルサイトやアプリがあれば便利。
- ④ どのような情報発信を求めるか。(媒体や言語など)
  - お祭りや花火などイベントの開催情報を知りたい。
  - 初めて日本に来た外国人向けの専用サイト(住んだ時に役に立つ情報)が多言語版であると良い。
  - SNSは既に区全体のものがあるが、多文化共生専用のものがあるといい
- ⑤ 交流機会やイベントについて(自国・他国・日本関わらず)
  - 音楽・スポーツ・食に関するイベント。顔の見える関係を築くことでトラブルは減っていくと思う。
  - 日本の古い文化や杉並区のことを知れるイベント。郷土愛のような感覚があり、住んでいる土地のことを知りたい。
  - 日本人と外国人でグループワークに参加し、何週間か時間をかけてタスクを達成するチームプロジェクトとかあれば良い。
- ⑥ その他
  - 日本人とのかかわりがあってもその時だけで、もっと話がゆっくりできる機会があると良い。
  - パイプ役になれるようにボランティアを行いたい。

## (5) 外国国籍の子どもヒアリング

### 【主な意見】

- ① こんなイベントがあると良いなと思うことはあるか。
  - みんなで運動できるイベント（小学生 3 年生）
  - お寺を巡るイベント（小学 5 年生）
  - 日本の文化に触れあうイベント（中学 3 年生）
  - ハロウィンやクリスマスなどに合わせたイベント（中学 3 年生）
- ② 良かったことや楽しかったこと、困ったことがあったとき、誰に話すことが多いか。
  - 回答人数 17 人、回答数 30 件



- ③ 杉並区がもっとこうなるといいなと思うことはあるか。
  - 無料でゲーム機が遊べる場所が欲しい（小学 2 年生）
  - 家の前の舗装が整備させると良い（小学 3 年生）
  - 日本語教室のような場所がもっとあると良い（中学 3 年生）
  - 児童館など子どもの居場所となる場所があると良い（中学 1 年生）
  - 勉強ができる場所を増やしてほしい（中学 3 年生）

### 3. 用語について

本文中にも脚注表記していますが、杉並区多文化共生基本方針にて使用する用語の意味は次のとおりとしました。ただし、資料等からの引用や、すでに実施されている事業等における表記については変更していません。

◇ 「多文化共生」

「国籍や民族などの異なる人々が、互いの文化的違いを認め合い、対等な関係を築こうとしながら、地域社会の構成員として共に生きていくこと」  
 (『多文化共生の推進に関する研究会報告書』平成 18 (2006) 年 総務省)

◇ 「区民」

杉並区に在住、在勤、在学している人

◇ 「日本国籍区民」

国籍が日本である区民

◇ 「日本国籍住民」

「日本国籍区民」のうち、杉並区に住民登録をしている人

◇ 「外国国籍区民」

国籍が日本以外の区民

◇ 「外国国籍住民」

「外国国籍区民」のうち、杉並区に住民登録をしている人

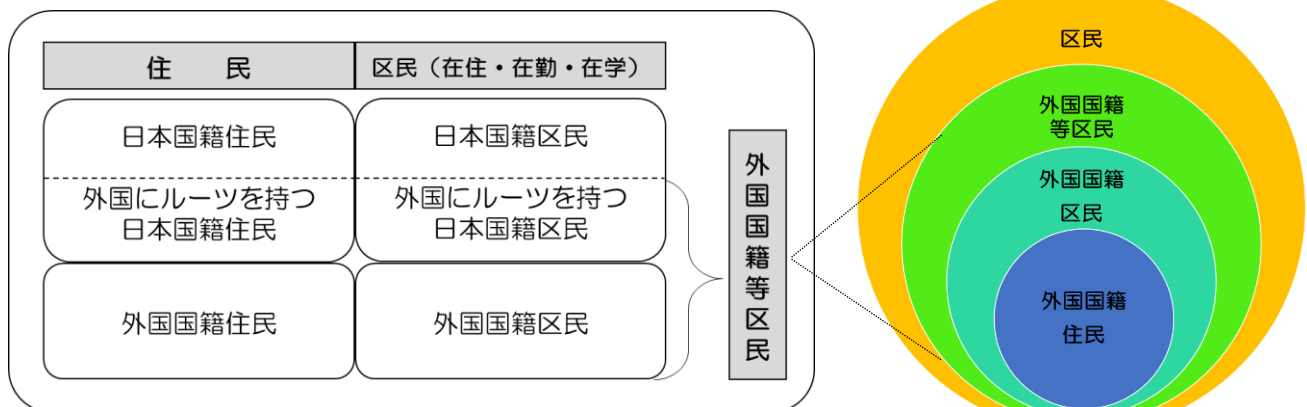
◇ 「外国にルーツを持つ日本国籍区民」

- ・ 届出により日本の国籍を取得した区民
- ・ 外国で出生し、日本以外の国籍も持つ区民
- ・ 親の両方又はいずれかが外国出身者である日本の国籍を持つ区民

◇ 「外国国籍等区民」

「外国国籍区民」及び「外国にルーツを持つ日本国籍区民」

#### 【杉並区多文化共生基本方針で用いる用語の定義】



在留資格	活動内容等	該当産業分野、該当職種例
技術・人文知識・国際業務（技人国）	大学などで学んだ知識や、母国の企業で培った経験などに関連する活動。 単純労働は含まない。	機械工学等の技術者、通訳、デザイナー、私企業の語学教師、マーケティング業務従事者等
特定活動	法務大臣が、個々の外国人に対して活動を指定して認める在留資格。 指定される活動によって活動できる内容が変わる。	外交官等の家事使用人、ワーキング・ホリデー、経済連携協定に基づく外国人看護師・介護福祉士候補者等
特定技能	人材を確保することが難しい、特定産業分野において相当程度の知識・技能を要する業務に従事する活動。	①介護 ②ビルクリーニング ③工業製品製造業 ④建設 ⑤造船・船用工業 ⑥自動車整備 ⑦航空 ⑧宿泊 ⑨自動車運送業 ⑩鉄道 ⑪農業 ⑫漁業 ⑬飲食料品製造業 ⑭外食業 ⑮林業 ⑯木材産業
高度専門職	日本の公私の機関で研究、研究指導、教育をする活動、または自然科学や人文科学の分野に属する知識・技術を要する業務に従事する活動、または経営・管理を行う活動。	研究者、大学の教授、会社の経営者や役員等
技能実習	単純作業では修得できない技能を、実習によって習得するための活動。 労働力の供給の手段としてはいけない。	96 職種 167 作業 （農業・林業関係、漁業関係、建設関係、食品製造関係、繊維・衣服関係、機械・金属関係、その他）

